

取扱説明書

NetDA Manager

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

• 最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>



使用上の注意事項

- ・ モニターの解像度を頻繁に変更すると、まれに解像度の変更ができなくなります。このようなときは、コンピュータを再起動してください。
- ・ ご使用のソフトウェアによっては、正常に表示できなくなる場合があります。このようなときは、ソフトウェアを再起動することで正常に表示することができます。
- ・ オーディオデバイスを接続している場合、NetDA Managerの操作でコンピュータとの接続を切断した際に、オーディオデバイスからノイズ音が出る場合があります。切断操作をおこなう際に、オーディオデバイスの操作で音量を下げることで現象を軽減することができます。
- ・ 3Dハードウェアアクセラレーションを必要とするソフトウェアには対応していません。
- ・ コンピュータ本体のグラフィックスボード（オンボードグラフィック機能含む）との組み合わせにより、正常に動作しない場合があります。
- ・ グラフィックスボード付属ユーティリティなどの常駐ソフトウェアと併用すると、正常に動作しない場合があります。
- ・ 動画表示時に到達可能なフレームレートは、コンピュータ側のCPUスペックとネットワーク帯域に依存します。
- ・ モニター接続台数の増加に応じて、コンピュータ側に必要なCPUスペックとネットワーク帯域も増加します。
- ・ モニターに接続されるUSB機器がネットワーク帯域を大量に消費すると、モニターのフレームレートが下がる可能性があります。
- ・ モニターに接続して使用できるUSB Webカメラは、転送モードがフルスピードのUSB Webカメラのみです。ハイスピードのUSB Webカメラには対応していません。
- ・ USB Webカメラを使用する場合、ライン出力コネクタ（スピーカー）やマイク入力コネクタを同時に使用することはできません。

-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

Windows、Windows Media、Windows Vista、Internet Explorer、SQL Server、Xbox 360は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

表紙	1	5-4. DHCPサーバー機能の詳細設定をする	37
使用上の注意事項	2	5-5. アクセスポイント機能の詳細設定をする	38
目次	3	5-6. モニターの待機画面を変更する	39
NetDA Managerについて	4	5-7. 設定を初期化する	40
第1章 インストール	5	5-8. モニターのネットワーク機能を再起動する	41
1-1. 動作条件	5	第6章 設定項目一覧	42
1-2. インストール	6	6-1. 簡単設定	42
1-3. アンインストール	10	● 簡単設定	42
● NetDA Manager	10	6-2. ネットワーク設定	46
● ディスプレイドライバ	11	● 基本設定	46
第2章 NetDA Managerの基本操作	12	● TCP/IP設定	46
2-1. 起動	12	● 有線LAN設定	47
2-2. 設定画面	13	● 無線LAN設定	47
● メイン画面	13	● DHCPサーバ設定	51
● 右クリックメニュー	14	● 接続先PCの設定	52
2-3. NetDA Managerの設定	15	6-3. セキュリティ	53
● オプションダイアログボックス	15	● パスワードの設定	53
● プロパティダイアログボックス	18	● Device Filter設定	53
第3章 ネットワークの設定	19	6-4. メンテナンス情報	53
● コンピュータの無線LAN設定を変更する	27	● 待機画面	53
第4章 接続/切断	28	第7章 こんなときは	54
4-1. モニターと接続する	28	7-1. 導入時	54
● 接続方法	28	7-2. 使用時	57
● モニターの表示設定	29	第8章 ご参考に	61
4-2. モニターと切断する	31	8-1. 用語集	61
● 切断方法	31		
第5章 その他機能の設定	32		
5-1. 複数台のコンピュータを、画面を切り替え て使用する	32		
● キーボードで表示するための設定をする	32		
● キーボードで表示を切り替えて使用する	33		
5-2. モニター内蔵スピーカー、オーディオデバ イスおよびストレージデバイスの使用を制 限する	34		
5-3. モニターに表示させるコンピュータを制限 する	36		

NetDA Managerについて

NetDA Managerは、当社ネットワーク接続対応の液晶モニターとコンピュータをネットワーク経由で接続するための専用ソフトウェアです。

NetDA Managerでは、主に次のことができます。

- モニターのネットワーク設定
- ネットワーク上のモニター検索
- モニターやモニターに接続したUSB機器を一括でコンピュータに接続/切断

第 1 章 インストール

1-1. 動作条件

NetDA Managerを使用するには、次の動作条件を満たしている必要があります。

対応OS	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Windows 7（32ビット版/64ビット版）• Microsoft Windows Vista（32ビット版/64ビット版）• Microsoft Windows XP（32ビット版）
------	--

1-2. インストール

注意点

- ・ユーザーアカウントに「コンピュータの管理者」権限が必要となります。ユーザーアカウントの権限設定についてはシステム管理者に問い合わせてください。

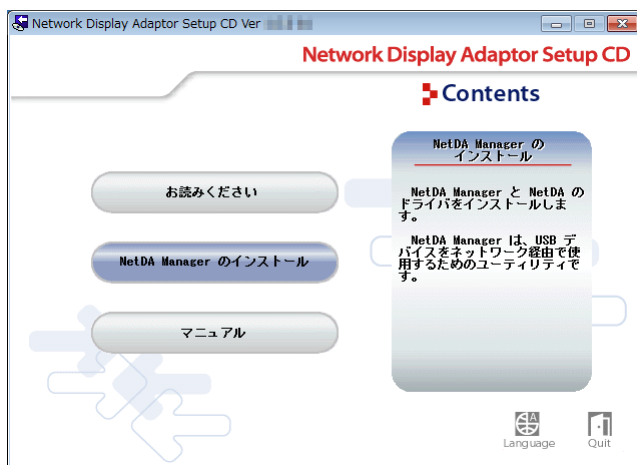
1. CD-ROMドライブに「EIZO LCDユーティリティディスク」を挿入します。

起動メニューが表示されます。

「Network Display Adaptor」タブの「NetDA Manager」をクリックします。

「インストール」をクリックすると、メニュー画面が表示されます。

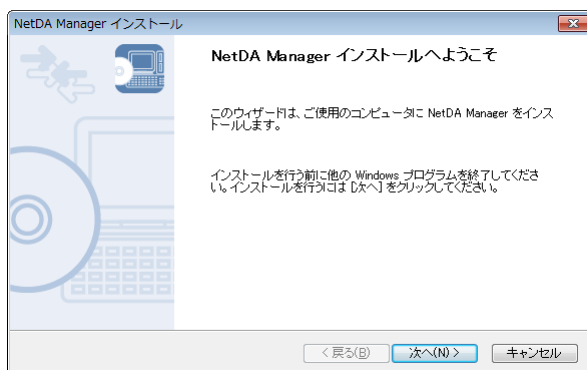
「NetDA Managerのインストール」をクリックすると、インストーラが起動します。



注意点

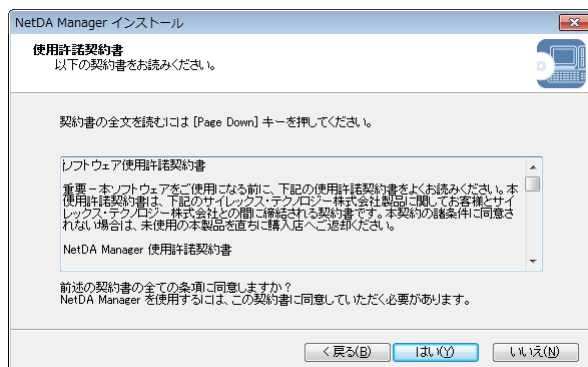
- ・ご使用のOSによって、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。「はい」/「続行」をクリックすると、メニューが起動します。

2. 「次へ」をクリックします。



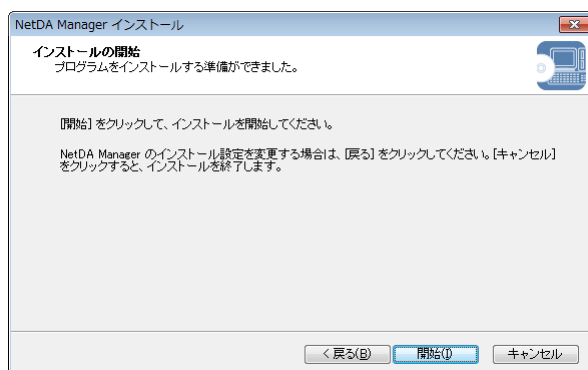
3. 使用許諾について確認します。

使用許諾の内容をよくお読みになり、使用許諾の条項に同意される場合は「はい」をクリックします。



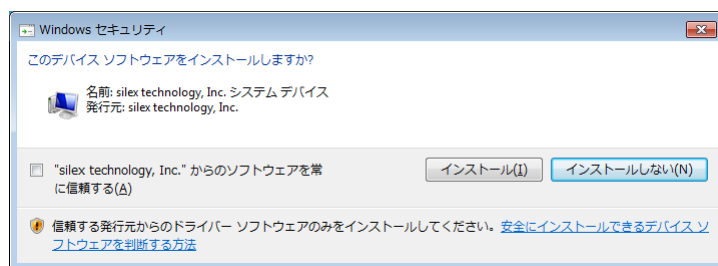
4. インストールを開始します。

「開始」をクリックします。



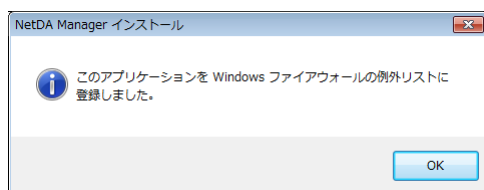
注意点

- Windows 7 / Windows Vistaのコンピュータでインストールすると、次のメッセージが表示されます。「インストール」をクリックしてください。



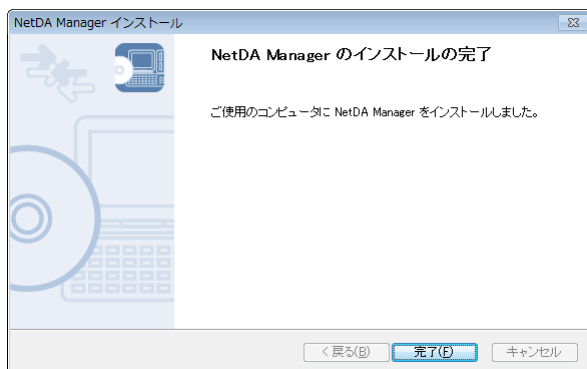
5. Windowsファイアウォールの例外リストに登録したことを示す確認画面が表示されます。

「OK」をクリックします。



6. NetDA Managerのインストールを完了します。

「完了」をクリックします。



注意点

- 市販のセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能をご利用の場合は、セキュリティソフトウェアに「NetDA Manager」を除外登録する必要があります。

7. 引き続き、ディスプレイドライバをインストールします。

ディスプレイドライバのインストーラが起動します。

注意点

- ディスプレイドライバはモニターの表示を制御するために必要です。
- ディスプレイドライバをインストールすると付属の設定ソフトウェアも同時にインストールされます。モニターに接続すると、タスクトレイに設定ソフトウェアのアイコン (🖥️) が表示され、表示画面の設定や解像度の変更を簡単におこなうことができます。
- Windows 7のコンピュータで使用する場合、コンピュータに搭載されるグラフィックスボードにはWDDM (Windows Display Driver Model) ドライバをご使用ください。XPDMドライバをご使用の場合、ディスプレイドライバが動作しません。
- Windows 7 / Windows Vistaのコンピュータで使用する場合、ディスプレイドライバをインストールすると、Windows Aeroが使用できなくなる場合があります。
- ご使用のOSによって、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。「はい」/「続行」をクリックすると、メニューが起動します。

参考

- Windows 7 / Vista のコンピュータで、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスがアクティブになっていない場合は、タスクバーの 🖥️ をクリックして、表示される画面のメッセージに従ってください。

8. 使用許諾について確認します。

使用許諾の内容をよくお読みになり、使用許諾の条項に同意される場合は「同意する」をクリックします。



参考

- OSの状態により、再起動が必要な場合があります。再起動を促すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動をおこなってください。
-

9. インストールを完了します。

NetDA Managerが起動し、アイコン（）がタスクトレイに表示されます。

1-3. アンインストール

● NetDA Manager

注意点

- ・ユーザーアカウントに「コンピュータの管理者」権限が必要となります。ユーザーアカウントの権限設定についてはシステム管理者に問い合わせてください。
-

1. 「コントロールパネル」で「プログラムのアンインストール」をクリックします。

参考

- ・ Windows XPをご使用の場合は「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。
-

2. リストから「NetDA Manager」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

注意点

- ・ ご使用のOSによって、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。「はい」/「続行」をクリックすると、メニューが起動します。
-

参考

- ・ Windows XPをご使用の場合は「削除」をクリックします。
-

3. 確認メッセージが表示されますので「はい」をクリックします。

4. アンインストールを完了します。

「完了」をクリックします。

● ディスプレイドライバ

注意点

- ・ ユーザーアカウントに「コンピュータの管理者」権限が必要となります。ユーザーアカウントの権限設定についてはシステム管理者に問い合わせてください。
- ・ アンインストール後、コンピュータを再起動する必要があります。アンインストール実行前に必ずコンピュータで動作しているソフトウェアをすべて終了させておいてください。

1. 「コントロールパネル」で「プログラムのアンインストール」をクリックします。

参考

- ・ Windows XPをご使用の場合は「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。

2. リストから「NetDA」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

参考

- ・ Windows XPをご使用の場合は「削除」をクリックします。

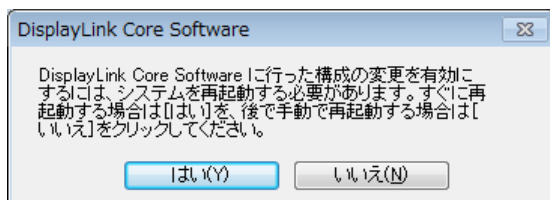
3. 確認メッセージが表示されますので「はい」をクリックします。

注意点

- ・ ご使用のOSによって、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。「はい」/「続行」をクリックすると、メニューが起動します。

4. アンインストールが完了すると次の画面が表示されます。

「はい」をクリックして、コンピュータを再起動します。



参考

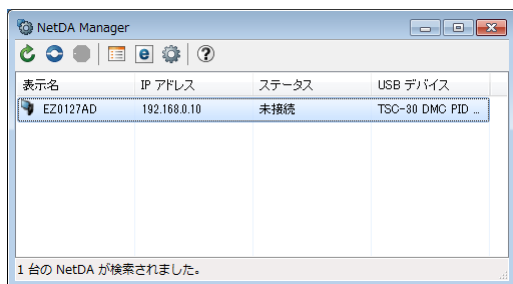
- ・ 再起動することで設定ソフトウェアも自動的に削除されます。

第2章 NetDA Managerの基本操作







2-1. 起動

1. 「スタート」－「(すべての) プログラム」－「NetDA Manager」から「NetDA Manager」をクリックします。

NetDA Managerが起動してメイン画面が表示され、ネットワーク上のモニターが一覧表示されます。

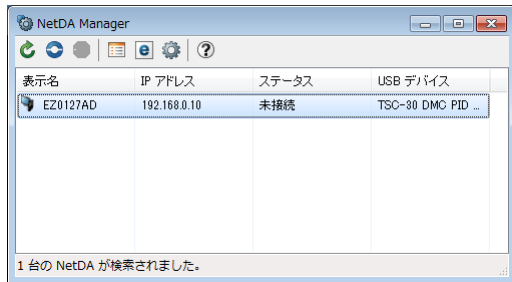









参考

- NetDA Managerを起動すると、タスクトレイにアイコン () が表示されます。
- メイン画面を最小化すると、タスクトレイのアイコン () 表示のみとなります。再度、メイン画面を表示するときは、アイコン () をクリックしてください。
- 一覧に表示されていないモニターがある場合は、「更新」 () をクリックしてください。「更新」 () をクリックしてもモニターが表示されない場合は、「[2. NetDA Managerのメイン画面にモニターが表示されません。」 \(P.54\)](#) を参照してください。
- NetDA Managerを終了するときは、メイン画面右上の「閉じる」 () をクリックしてください。

2-2. 設定画面

● メイン画面



 更新	メイン画面に表示されている一覧を最新の状態で再表示します。
 接続	メイン画面の一覧で選択したモニターと、コンピュータを接続します。
 切断	メイン画面の一覧で選択したモニターと、コンピュータを切断します。
 プロパティを表示	選択したモニターのプロパティ画面を表示します。 プロパティ画面の詳細は「 2-3. NetDA Managerの設定 」(P.15)を参照してください。
 Webページを表示	選択したモニターのWebページを表示します。 Webページでは、選択したモニターのネットワーク設定やその他機能の設定などをおこなうことができます。 (設定項目については、「 第6章 設定項目一覧 」(P.42)を参照してください。) ※Webページで設定をおこなう場合、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。入力画面が表示されたら、ユーザー名 (root) とパスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。(パスワードは、初期設定では設定されていません。)
 オプション設定	NetDA Managerのオプション設定画面を表示します。 NetDA Managerのオプション設定については「 2-3. NetDA Managerの設定 」(P.15)を参照してください。
 バージョン情報	NetDA Managerのバージョン情報画面を表示します。

● 右クリックメニュー

メイン画面のモニターを選択して右クリックすると、メニューが表示されます。

接続(C)
切断(D)
プロパティを表示(P)...
Web ページを表示(W)

接続	選択したモニターと接続します。
切断	選択したモニターと切断します。
プロパティを表示...	選択したモニターのプロパティ画面を表示します。 プロパティ画面の詳細は「 2-3. NetDA Managerの設定 」(P.15)を参照してください。
Webページを表示	選択したモニターのWebページを表示します。 Webページでは、選択したモニターのネットワーク設定やその他機能の設定などをおこなうことができます。 (設定項目については、「 第6章 設定項目一覧 」(P.42)を参照してください。) ※Webページで設定をおこなう場合、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。入力画面が表示されたら、ユーザー名 (root) とパスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。(パスワードは、初期設定では設定されていません。)

2-3. NetDA Managerの設定

● オプションダイアログボックス

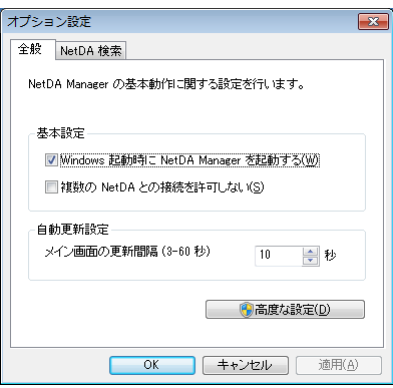
NetDA Managerの起動、通信条件など全般的な動作に関する設定ができます。

1. メイン画面でオプション設定（）をクリックします。

オプション設定ダイアログボックスが表示されます。

● 全般

基本動作に関する設定をおこないます。



Windows起動時にNetDA Managerを起動する	NetDA Managerをスタートアップに登録します。 スタートアップに登録するとWindowsログオン時に自動的にNetDA Managerが起動します。 (初期値：オン)
複数のNetDA ^{※1} との接続を許可しない	2台以上のモニターと同時に接続をおこなわないようにします。 2台以上のモニターに同時に表示させる場合はチェックを外します。 (初期値：オン)
メイン画面の更新間隔	メイン画面の更新間隔を設定します。 (初期値：10秒)
高度な設定	「高度な設定」ダイアログボックスを開きます。 ※ご使用のOSによって、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。「はい」/「続行」をクリックしてください。

※1 FDX1502N/FDX1502NT/FDS1702N/FDS1702NTでは「モニター（LAN）」を指します。

高度な設定

2台以上のモニターと同時に接続する場合の設定をおこないます。

複数NetDA ^{※1} 接続時に入力機器を排他使用する	モニターに接続したUSB機器（キーボードやマウスなど）を、1台のモニターでのみ操作可能にして、2台以上のモニターで同時に使用できないようにします。 次の「使用権を解放するまでの時間」で設定した時間が経過すると、他のモニターから操作が可能になります。（ただし、使用権を獲得できるモニターは1台のみです。） （初期値：オフ）
使用権を解放するまでの時間	USB機器を排他使用する場合、機器が未使用の状態になってから、使用権を解放するまでの時間を設定します。 （初期値：30秒）
拡張ディスプレイ・モード時に表示位置を固定する	複数台のモニターに異なる映像を表示する場合（拡張モード時）の、画面の表示位置を固定します。 このオプションをチェックすると、モニターの電源をオフしても、画面の表示が他のモニターに移動することはありません。 （チェックを外すと、モニターの電源をオフしたときに、画面の表示が電源の入っているモニターに自動的に移動します。） （初期値：オフ） ※この設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。

※1 FDX1502N/FDX1502NT/FDS1702N/FDS1702NTでは「モニター（LAN）」を指します。

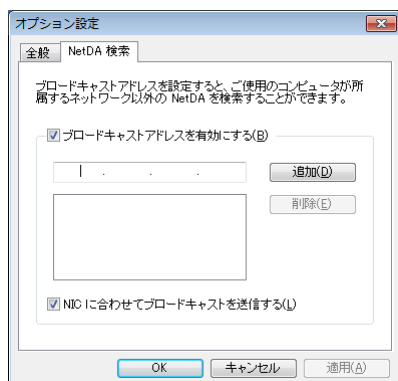
参考

- ・排他使用する場合、モニターに接続されたUSBキーボードの「左Ctrl」＋「左Shift」＋「スペースキー」を同時に押すと、使用権を獲得することができます。ただし、使用権が他のモニターにある場合は、使用権を獲得することができません。
- ・モニターに接続されたUSBキーボードの「左Ctrl」＋「左Shift」＋「左Alt」を同時に押すと、使用権を解放するまでの時間を待たずに、すぐに使用権を解放することができます。

● NetDA ※1検索

※1 FDX1502N/FDX1502NT/FDS1702N/FDS1702NTでは「モニター（LAN）」を指します。

ブロードキャストアドレスの設定をおこないます。



ブロードキャストアドレスを有効にする	<p>モニターの検索範囲について、ルータを超えて別のネットワークを検索範囲に含める際に、検索範囲に含めるネットワークへのブロードキャストアドレスを入力します。</p> <p>ブロードキャストアドレスを登録しなかった場合は、ローカルセグメント（ルータで区切られたネットワーク内）のみを検索します。</p> <p>ブロードキャストアドレスを登録する場合は、「ブロードキャストアドレスを有効にする」をチェックし、アドレス入力欄にブロードキャストアドレスを入力して「追加」をクリックします。</p> <p>登録したブロードキャストアドレスを削除する場合は、一覧から削除するブロードキャストアドレスを選択して、「削除」をクリックします。</p> <p>※例えば、192.168.1.xxx（サブネットマスク：255.255.255.0）のネットワークを登録する場合は、「192.168.1.255」を入力します。</p> <p>検索するネットワークのブロードキャストアドレスについては、ネットワーク管理者に確認して入力してください。</p>
追加	<p>ブロードキャストアドレスの追加をおこないます。</p> <p>アドレス入力欄にブロードキャストアドレスを入力して「追加」をクリックします。（最大：16個アドレス）</p>
削除	<p>追加したブロードキャストアドレスを削除します。</p> <p>一覧から削除するブロードキャストアドレスを選択して、「削除」をクリックします。</p>
NIC に合わせてブロードキャストを送信する	<p>NetDA Managerをインストールしたコンピュータに、複数のネットワークカード（Network Interface Card）が取り付けられている場合、IPアドレスに合わせたブロードキャストを各NICから送信します。</p> <p>（初期値：オン）</p>

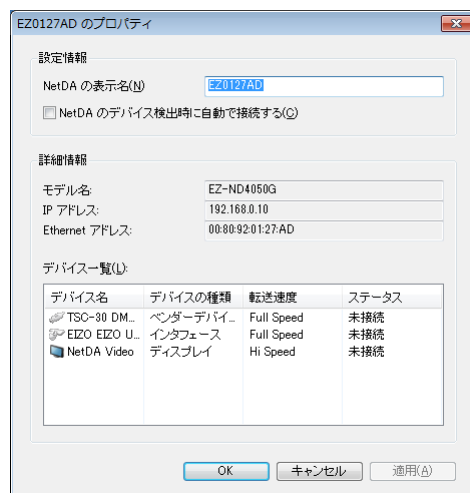
2. 設定が終了したら「OK」をクリックします。

● プロパティダイアログボックス

選択したモニターの表示名の変更や詳細情報の参照ができます。

1. メイン画面でモニターを選択し、「プロパティを表示」 () をクリックします。

プロパティダイアログボックスが表示されます。




NetDA ^{※1} の表示名	NetDA Managerのメイン画面に表示するモニターの名称を設定します。 (初期値：EZxxxxxx (xxxxxxはEthernetアドレスの下6桁))
NetDA ^{※1} のデバイス検出時に自動で接続する	この項目にチェックが入っているモニターを検出した際に、自動的にそのモニターと接続します。 (初期値：オフ)
詳細情報	選択したモニターの製品名、IPアドレス、Ethernetアドレスが表示されます。
デバイス一覧	選択したモニターに接続されているUSB機器の情報が一覧表示されます。

※1 FDX1502N/FDX1502NT/FDS1702N/FDS1702NTでは「モニター (LAN)」を指します。

2. 設定が終了したら「OK」をクリックします。

第3章 ネットワークの設定

ここでは、モニターとコンピュータ1台ずつの環境で、モニターにコンピュータの映像を表示する場合の、モニターの初期設定方法について説明します。

1. NetDA Managerのメイン画面から、設定するモニターを選択します。
2. 「Webページ表示」 () をクリックします。
3. Webページ左側の「簡単設定」をクリックします。



4. モニターにログインします。

ユーザー名（root）とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



参考

- ・ パスワードは、初期設定では設定されていません。

5. ネットワークの接続方法に応じて各項目を設定します。

- ・ 「アクセスポイント機能を使用して、無線LANで接続する場合」 (P.21)
- ・ 「既存の無線LANに接続する場合」 (P.23)
- ・ 「有線LANで接続する場合」 (P.25)



参考

- ・ 各項目の設定内容については、「第 6 章 設定項目一覧」 (P.42) もあわせて参照してください。

● アクセスポイント機能を使用して、無線LANで接続する場合

設定	項目名	設定値
基本設定	ネットワークモード	「AccessPoint」を選択します。
TCP/IP設定	DHCP	<p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されていて、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器からIPアドレスを自動取得する場合は「ENABLE」を選択します。</p> <p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されていない場合や、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器からIPアドレスを自動取得せず、手動でIPアドレスを設定する場合は「DISABLE」を選択します。</p> <p>※IPアドレスをDHCPによって設定するためには、サブネットワーク内にDHCPサーバーが稼動していなければなりません。</p>
	IPアドレス	上記「DHCP」で「DISABLE」を選択した場合は、モニターのIPアドレスを設定します。
	サブネットマスク	モニターのサブネットマスクを設定します。
	デフォルトゲートウェイ	モニターのゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DHCPサーバ設定	DHCPサーバ機能	<p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されている場合は「DISABLE」を選択します。</p> <p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されていない場合で、モニターのDHCPサーバー機能を使用してコンピュータにIPアドレスを割り当てる場合は「ENABLE」を選択します。</p>
	開始IPアドレス	上記「DHCPサーバ機能」で「ENABLE」を選択した場合は、コンピュータに設定するIPアドレスの範囲を指定します。
	終了IPアドレス	
	サブネットマスク	割り当てIPのためのサブネットマスクを設定します。
	デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定します。
無線LAN基本設定	SSID	モニターを接続する無線LANのSSIDを設定します。SSIDは、無線LANを使用して通信するグループを識別するためのIDです。無線LAN上で通信する機器は同じSSIDを設定します。
	ネットワーク認証	<p>無線LANアクセスポイントと接続する際に使用する認証方式を設定します。</p> <p>強固なセキュリティを確保するために、WPA/WPA2を使用することをお勧めします。IEEE 802.11nでは、AESのみ使用できます。</p>

設定	項目名	設定値
WEP設定 (「ネットワーク認証」で「Open」「Shared」を選択した場合)	WEP	WEP暗号化機能の有効 (ON) /無効 (OFF) を設定します。
	キーインデックス	WEP暗号化を使用する際に、暗号化に使用するWEPキーの番号 (1~4) を設定します。 ※キーインデックスは通信する相手機器と同じ値を設定する必要があります。
	WEPキー1~4	WEP暗号化に使用する暗号化キー (WEPキー) を設定します。 キー入力方式が「16進表記」の場合は、キーサイズが64bitは10桁、128bitは26桁で16進数を入力します。 キー入力方式が「英数字」の場合は、キーサイズが64bitは5文字、128bitは13文字で英数文字列を入力します。 ※WEPキーは通信する相手機器と同じ値を設定する必要があります。
WPA/WPA2 設定 (「ネットワーク認証」で「WPA」「WPA2」「WPA MIX」を選択した場合)	暗号化方式	WPA/WPA2/WPA MIXの認証方式で使用する暗号化方式を選択します。 ネットワーク認証方式が「WPA2」の場合は「TKIP」に設定することはできません。 ※暗号化方式は通信する相手機器と同じ値を設定する必要があります。
	共有キー	TKIP/AESの暗号化方式で使用する際に共有キー (Pre-Shared Key) を設定します。 共有キーとは暗号化キーを生成するためのキーワードで、「ネットワークキー」や「パスワード」といった表現で設定する無線LAN機器もあります。 8~63文字の場合は、英数文字列を入力します。 64文字の場合は、16進数を入力します。 ※共有キーは通信する相手機器と同じ値を設定する必要があります。
接続先PCの設定	PC1	接続するコンピュータのコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。 モニターにUSBキーボードを接続した場合、PC1に登録されたPCがキーボードの「F1」に対応し、「Ctrl」+「Shift」+「F1」を押すことで指定のコンピュータに接続することができます。 ※キーボードを使用してコンピュータに接続する場合は、次の条件を満たしている必要があります。 ・ 接続先のコンピュータが休止状態ではないこと ・ 接続先のコンピュータでNetDA Managerが起動していること ※この項目の設定をおこなうと、設定したコンピュータ以外からの接続ができなくなります。他のコンピュータからの接続も許可する場合は「5-3. モニターに表示させるコンピュータを制限する」 (P.36) を参照してください。

注意点

- ・ アクセスポイント機能を使用して無線LAN接続をする場合は、ネットワーク設定完了後、コンピュータの無線LAN設定を変更してください。詳細は「[コンピュータの無線LAN設定を変更する](#)」 (P.27) を参照してください。

● 既存の無線LANに接続する場合

設定	項目名	設定値
基本設定	ネットワークモード	「Wireless only (STA)」を選択します。
TCP/IP設定	DHCP	<p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されていて、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器からIPアドレスを自動取得する場合は「ENABLE」を選択します。</p> <p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されていない場合や、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器からIPアドレスを自動取得せず、手動でIPアドレスを設定する場合は「DISABLE」を選択します。</p> <p>※IPアドレスをDHCPによって設定するためには、サブネットワーク内にDHCPサーバーが稼動していなければなりません。</p>
	IPアドレス	上記「DHCP」で「DISABLE」を選択した場合は、モニターのIPアドレスを設定します。
	サブネットマスク	モニターのサブネットマスクを設定します。
	デフォルトゲートウェイ	モニターのゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DHCPサーバ設定	DHCPサーバ機能	<p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されている場合は「DISABLE」を選択します。</p> <p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されていない場合で、モニターのDHCPサーバー機能を使用してコンピュータにIPアドレスを割り当てる場合は「ENABLE」を選択します。</p>
	開始IPアドレス	上記「DHCPサーバ機能」で「ENABLE」を選択した場合は、コンピュータに設定するIPアドレスの範囲を指定します。
	終了IPアドレス	
	サブネットマスク	割り当てIPのためのサブネットマスクを設定します。
	デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定します。
無線LAN基本設定	SSID	モニターを接続する無線LANのSSIDを設定します。SSIDは、無線LANを使用して通信するグループを識別するためのIDです。無線LAN上で通信する機器は同じSSIDを設定します。
	ネットワーク認証	<p>無線LANアクセスポイントと接続する際に使用する認証方式を設定します。</p> <p>強固なセキュリティを確保するために、WPA/WPA2を使用することをお勧めします。IEEE 802.11nでは、AESのみ使用できます。</p>

設定	項目名	設定値
WEP設定 （「ネットワーク認証」で「Open」「Shared」を選択した場合）	WEP	WEP暗号化機能の有効（ON）/無効（OFF）を設定します。
	キーインデックス	WEP暗号化を使用する際に、暗号化に使用するWEPキーの番号（1～4）を設定します。 ※キーインデックスは通信する相手機器と同じ値を設定する必要があります。
	WEPキー1～4	WEP暗号化に使用する暗号化キー（WEPキー）を設定します。 キー入力方式が「16進表記」の場合は、キーサイズが64bitは10桁、128bitは26桁で16進数を入力します。 キー入力方式が「英数字」の場合は、キーサイズが64bitは5文字、128bitは13文字で英数文字列を入力します。 ※WEPキーは通信する相手機器と同じ値を設定する必要があります。
WPA/WPA2設定 （「ネットワーク認証」で「WPA」「WPA2」「WPA MIX」を選択した場合）	暗号化方式	WPA/WPA2/WPA MIXの認証方式で使用する暗号化方式を選択します。 ネットワーク認証方式が「WPA2」の場合は「TKIP」に設定することはできません。 ※暗号化方式は通信する相手機器と同じ値を設定する必要があります。
	共有キー	TKIP/AESの暗号化方式で使用する際に共有キー（Pre-Shared Key）を設定します。 共有キーとは暗号化キーを生成するためのキーワードで、「ネットワークキー」や「パスワード」といった表現で設定する無線LAN機器もあります。 8～63文字の場合は、英数文字列を入力します。 64文字の場合は、16進数を入力します。 ※共有キーは通信する相手機器と同じ値を設定する必要があります。
接続先PCの設定	PC1	接続するコンピュータのコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。 モニターにUSBキーボードを接続した場合、PC1に登録されたPCがキーボードの「F1」に対応し、「Ctrl」+「Shift」+「F1」を押すことで指定のコンピュータに接続することができます。 ※キーボードを使用してコンピュータに接続する場合は、次の条件を満たしている必要があります。 ・ 接続先のコンピュータが休止状態ではないこと ・ 接続先のコンピュータでNetDA Managerが起動していること ※この項目の設定をおこなうと、設定したコンピュータ以外からの接続ができなくなります。他のコンピュータからの接続も許可する場合は「5-3. モニターに表示させるコンピュータを制限する」（P.36）を参照してください。

● 有線LANで接続する場合

設定	項目名	設定値
基本設定	ネットワークモード	「Wired only」を選択します。
TCP/IP設定	DHCP	<p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されていて、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器からIPアドレスを自動取得する場合は「ENABLE」を選択します。</p> <p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されていない場合や、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器からIPアドレスを自動取得せず、手動でIPアドレスを設定する場合は「DISABLE」を選択します。</p> <p>※IPアドレスをDHCPによって設定するためには、サブネットワーク内にDHCPサーバーが稼動していなければなりません。</p>
	IPアドレス	上記「DHCP」で「DISABLE」を選択した場合は、モニターのIPアドレスを設定します。
	サブネットマスク	モニターのサブネットマスクを設定します。
	デフォルトゲートウェイ	モニターのゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DHCPサーバ設定	DHCPサーバ機能	<p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されている場合は「DISABLE」を選択します。</p> <p>モニターを接続する既存のネットワーク環境に、DHCPサーバー機能を持つネットワーク機器が設置されていない場合で、モニターのDHCPサーバー機能を使用してコンピュータにIPアドレスを割り当てる場合は「ENABLE」を選択します。</p>
	開始IPアドレス	上記「DHCPサーバ機能」で「ENABLE」を選択した場合は、コンピュータに設定するIPアドレスの範囲を指定します。
	終了IPアドレス	
	サブネットマスク	割り当てIPのためのサブネットマスクを設定します。
	デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定します。
接続先PCの設定	PC1	<p>接続するコンピュータのコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。</p> <p>モニターにUSBキーボードを接続した場合、PC1に登録されたPCがキーボードの「F1」に対応し、「Ctrl」+「Shift」+「F1」を押すことで指定のコンピュータに接続することができます。</p> <p>※キーボードを使用してコンピュータに接続する場合は、次の条件を満たしている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続先のコンピュータが休止状態ではないこと ・ 接続先のコンピュータでNetDA Managerが起動していること <p>※この項目の設定をおこなうと、設定したコンピュータ以外からの接続ができなくなります。他のコンピュータからの接続も許可する場合は「5-3. モニターに表示させるコンピュータを制限する」(P.36)を参照して設定を変更してください。</p>

6. 設定が完了したら「設定更新」をクリックします。

7. モニターのネットワーク機能を再起動します。

「OK」をクリックします。


8. Webブラウザを終了します。

以上でネットワークの設定は完了です。

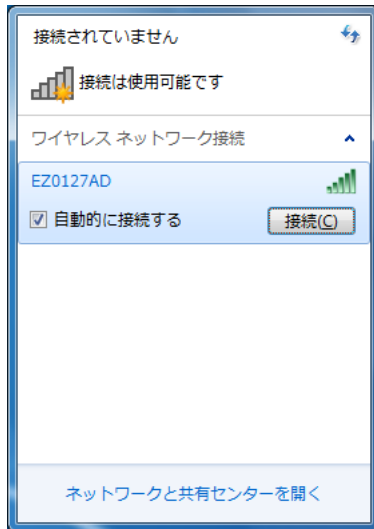
● コンピュータの無線LAN設定を変更する

アクセスポイント機能を使用して無線LAN接続をする場合は、コンピュータの無線LAN設定を変更してください。

OS標準の無線機能を使用して、コンピュータの無線LAN設定を変更します。

1. タスクトレイのネットワークアイコン（）をクリックします。

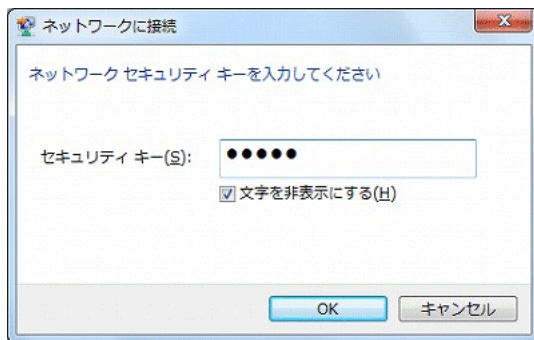
2. 一覧からモニターに設定されているSSIDを選択して、「接続」をクリックします。



参考

- ・ モニターの工場出荷時設定のSSIDは「EZxxxxxx」（xxxxxxはEthernetアドレスの下6桁）に設定されています。

3. 「セキュリティ キー」に、モニターに設定されているWEPキー（ネットワーク認証がWPA / WPA2 / WPA MIXの場合は共有キー）を入力します。



4. 「OK」をクリックします。

以上でコンピュータの無線LAN設定は終了です。

参考

- ・ モニターの工場出荷時設定のネットワーク認証は「Open」に設定されています。

第 4 章 接続/切断

4-1. モニターと接続する

注意点

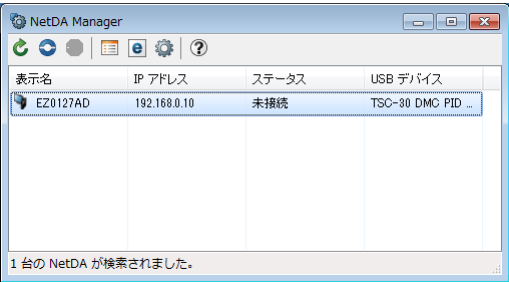
- コンピュータにNetDA Managerとディスプレイドライバがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、「1-2. インストール」 (P.6) を参照してソフトウェアのインストールをおこなってください。

参考

- Windows 7のコンピュータとモニターを接続すると、初回接続時は接続までに時間がかかる場合があります。詳細は「7. Windows 7のコンピュータでモニターを接続すると、接続に時間がかかります。」 (P.60) を参照してください。
- 初回接続時に画面がちらつくことがあります。

● 接続方法

1. NetDA Managerのメイン画面で接続するモニターを選択します。



2. 次のいずれかの方法で、接続操作をおこないます。

マウスクリックで操作する	メイン画面で、接続するモニターをダブルクリックします。
ボタンで操作する	メイン画面で、接続するモニターを選択して、「接続」 (🔌) をクリックします。
右クリックメニューで操作する	メイン画面で、接続するモニターを選択して右クリックし、表示されたメニューから「接続」を選択します。
キーボードで操作する	キーボードのカーソル上下キーで使用するモニターを選択して、「Alt」を押しながら「C」を押します。

3. 接続に成功すると、モニターにコンピュータの画面が表示されます。

参考

- モニターの表示内容をコンピュータと同一の内容または異なる内容に変更する場合は、ディスプレイドライバの設定を変更します。詳細は「モニターの表示設定」 (P.29) を参照してください。

● モニターの表示設定

ディスプレイドライバの設定ソフトウェアにて表示画面の設定や解像度の変更をおこなうことができます。

注意点

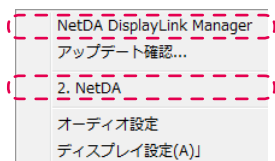
- ・ここではWindows 7での操作方法を例に記載しています。その他のOSバージョンについては、OSの取扱説明書を参照してください。

1. タスクトレイのアイコン（）をクリックします。

参考

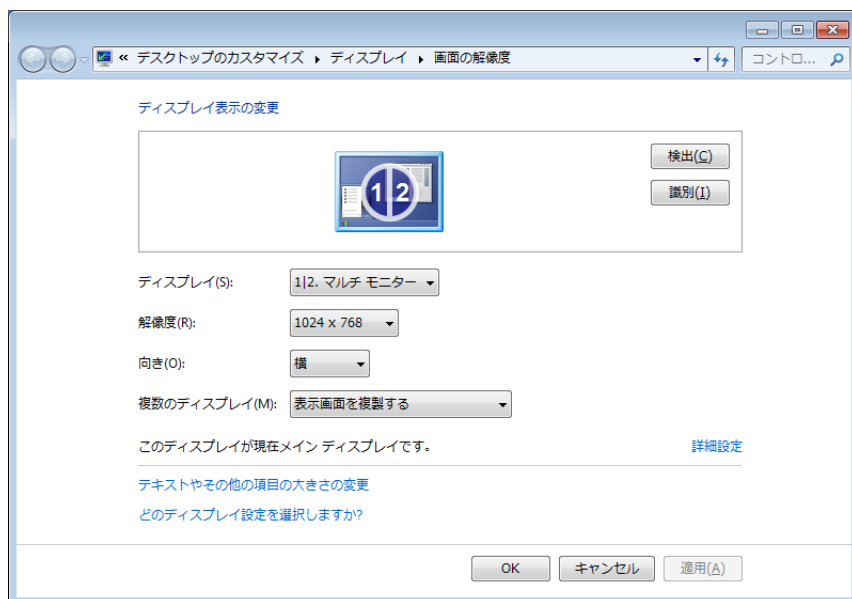
- ・モニターに接続すると、タスクトレイにアイコン（）が表示されます。

2. 「NetDA DisplayLink Manager」、または設定を変更するモニター（「x. NetDA Video」）をクリックします。



● 「NetDA DisplayLink Manager」をクリックした場合

モニターの詳細設定画面が表示されますので、各項目の設定をおこないます。



ディスプレイ	設定を変更するモニターを選択します。
解像度	モニターの解像度を変更します。
向き	モニターの方向（横/縦）を変更します。 ※FDX1502N/FDX1502NT/FDS1702N/FDS1702NTでは対応していません。
複数のディスプレイ	複数台のモニターに同じ映像を表示する場合は「表示画面を複製する」に設定します。 複数台のモニターに異なる映像を表示する場合は「表示画面を拡張する」に設定します。 離れた場所にあるコンピュータを遠隔操作する場合は「表示画面を複製する」に設定します。

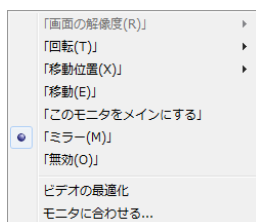
これをメインディスプレイにする	<p>このオプションをチェックすると、選択したモニターはデスクトップが表示されるプライマリディスプレイになります。</p> <p>※すでにメインディスプレイに設定されている場合は「このディスプレイが現在メインディスプレイです。」と表示されます。</p>
-----------------	--

参考

- モニターを複数台接続した場合は、メニューにモニターを選択する項目が追加されます。

● モニター（「x.NetDA Video」）をクリックした場合

メニューが表示されますので、各項目の設定をおこないます。

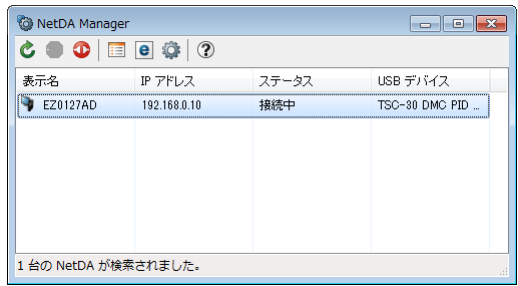


画面の解像度	モニターの解像度を変更します。
回転	<p>モニターの画面を回転します。</p> <p>※FDX1502N/FDX1502NT/FDS1702N/FDS1702NTでは対応していません。</p>
移動位置	複数台のモニターに異なる映像を表示する場合で、設定中のモニターの表示位置を変更します。
移動	複数台のモニターに異なる映像を表示する場合に設定します。
このモニタをメインにする	設定中のモニターをデスクトップが表示されるプライマリディスプレイにします。
ミラー	複数台のモニターに同じ映像を表示する場合に設定します。
無効	画面を表示しません。
ビデオの最適化	動画の再生を最適化します。
モニタに合わせる...	Windowsデスクトップのサイズをモニターに合わせて拡大、縮小することができます。

4-2. モニターと切断する

● 切断方法

1. NetDA Managerのメイン画面で切断するモニターを選択します。



2. 次のいずれかの方法で、切断操作をおこないます。

マウスクリックで操作する	メイン画面で、切断するモニターをダブルクリックします。
ボタンで操作する	メイン画面で、使用していたモニターを選択して「切断」 (🔴) をクリックします。
右クリックメニューで操作する	メイン画面で、使用していたモニターを選択して右クリックし、表示されたメニューから「切断」を選択します。
キーボードで操作する	メイン画面で、キーボードのカーソル上下キーで使用していたモニターを選択して、「Alt」を押しながら「D」を押します。

3. モニターの表示が終了します。

第5章 その他機能の設定

5-1. 複数台のコンピュータを、画面を切り替えて使用する

● キーボードで表示するための設定をする

離れた場所に設置されたコンピュータの画面を、モニターに接続されたUSBキーボードを使用して表示したり、終了したりすることができます。

注意点

- ・ キーボードを使用してコンピュータに接続する場合は、次の条件を満たしている必要があります。
 - 接続先のコンピュータが休止状態ではないこと
 - 接続先のコンピュータでNetDA Managerが起動していること

1. NetDA Managerのメイン画面で設定するモニターを選択し、Webページを表示します。
2. 「ネットワーク設定」の下にある、「接続先PC」をクリックします。
3. 「接続先PCの設定」のPC 1からPC 12に、接続するコンピュータのコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。

「デバイス切断のキー設定」もあわせて設定します。



4. 設定が完了したら「設定更新」をクリックします。

5. モニターのネットワーク機能を再起動します。

「OK」をクリックします。

新しい設定は再起動後から有効になります。

6. Webブラウザを終了します。

● キーボードで表示を切り替えて使用する

1台のモニターに複数台のコンピュータの画面を切り替えて表示することができます。

注意点

- キーボードを使用してコンピュータに接続する場合は、次の条件を満たしている必要があります。
 - 接続先のコンピュータが休止状態ではないこと
 - 接続先のコンピュータでNetDA Managerが起動していること

参考

- キーボードを使って表示するには、あらかじめ、表示/終了させるコンピュータをキーボードのファンクションキー（「F1」～「F12」）に登録しておく必要があります（PC1に登録されたコンピュータがキーボードのファンクションキー「F1」に対応します）。詳細は「[キーボードで表示するための設定をする](#)」（P.32）を参照してください。
- Windows 7のコンピュータとモニターを接続すると、初回接続時は接続までに時間がかかる場合があります。詳細は「[7. Windows 7のコンピュータでモニターを接続すると、接続に時間がかかります。](#)」（P.60）を参照してください。

モニターに表示する

1. モニターに接続されたUSBキーボードの「Ctrl」+「Shift」+「ファンクションキー」を同時に押します。

ファンクションキーに登録したコンピュータの内容がモニターに表示されます。

参考

- 初回接続時はモニターの画面がちらつくことがあります。

モニターの表示を終了する

1. モニターに接続されたUSBキーボードの「Ctrl」+「Shift」+「Delete」を同時に押します。

モニター表示を終了します。

参考

- Webページの「ネットワーク設定」－「接続先PC」の「デバイス切断のキー設定」で「Ctrl」+「Shift」+「Insert」に変更することができます。

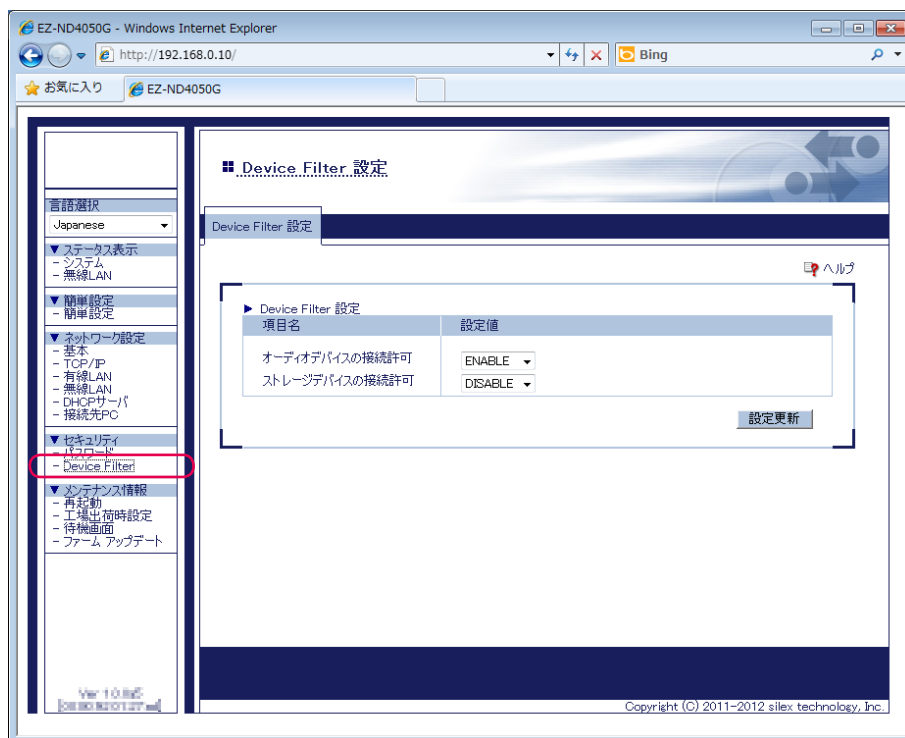
5-2. モニター内蔵スピーカー、オーディオデバイスおよびストレージデバイスの使用を制限する

モニターの内蔵スピーカーや、モニターに接続したオーディオデバイス、ストレージデバイスとのネットワーク接続を許可/拒否することができます。

1. NetDA Managerのメイン画面で設定するモニターを選択し、Webページを表示します。
2. 「セキュリティ」の下にある、「Device Filter」をクリックします。
3. 「オーディオデバイスの接続許可」または「ストレージデバイスの接続許可」の選択をします。

内蔵スピーカー、オーディオデバイスおよびストレージデバイスとの接続を許可する場合は「ENABLE」を選択します。

内蔵スピーカー、オーディオデバイスおよびストレージデバイスとの接続を拒否する場合は「DISABLE」を選択します。



項目	設定内容	工場出荷時設定
オーディオデバイスの接続許可	<p>モニターの内蔵スピーカーおよびライン出力コネクタへの音声配信、マイク入力コネクタからの音声受信を実行（ENABLE）/禁止（DISABLE）します。</p> <p>「ENABLE」に設定すると、接続したコンピュータで再生した音声を内蔵スピーカーおよびライン出力コネクタへ配信します。また、マイク入力コネクタからの音声入力を受信します。</p> <p>「DISABLE」に設定すると、内蔵スピーカーおよびライン出力コネクタへの配信、マイク入力コネクタからの受信を含め、モニターに対する音声入出力をおこないません。（NetDA Manager上でオーディオデバイスが一覧表示されなくなります。）</p> <p>※音声配信および音声受信を使用しない場合は「DISABLE」に設定することで、映像を滑らかに表示することができます。</p>	DISABLE
ストレージデバイスの接続許可	<p>モニターのUSBポートにストレージデバイスを接続した際のネットワーク共有を許可（ENABLE）/禁止（DISABLE）します。</p> <p>「ENABLE」に設定すると接続されたストレージデバイスはNetDA Managerを使用して共有することができます。</p> <p>「DISABLE」に設定すると接続されたストレージデバイスはNetDA Managerを使用してネットワーク接続できません。</p>	DISABLE

4. 設定が完了したら「設定更新」をクリックします。

5. モニターのネットワーク機能を再起動します。

「OK」をクリックします。

新しい設定は再起動後から有効になります。

注意点

- 接続許可設定を「ENABLE」に変更した場合は、ネットワーク機能の再起動後、再度モニターと接続する必要があります。

6. Webブラウザを終了します。

5-3. モニターに表示させるコンピュータを制限する

登録したコンピュータ（最大12台）だけにモニターとの接続を許可することができます。

参考

- ・モニターの接続先PC登録をIPアドレスで設定する場合、コンピュータのIPアドレスは手動で設定することをお勧めします。コンピュータのIPアドレスをDHCPサーバーから取得する設定にしていた場合、モニターに設定したIPアドレスと違うIPアドレスを割り振られると、モニターに表示させることができなくなります。

1. NetDA Managerのメイン画面で設定するモニターを選択し、Webページを表示します。

2. 「ネットワーク設定」の下にある、「接続先PC」をクリックします。

3. 「登録PCのみ接続許可」で「ENABLE」を選択します。

その下の「PC1」から「PC12」に登録したコンピュータからのみモニターと通信可能になります。

「DISABLE」を選択すると、「PC1」から「PC12」に登録したコンピュータ以外からも通信可能になります。



4. 設定が完了したら「設定更新」をクリックします。

5. モニターのネットワーク機能を再起動します。

「OK」をクリックします。

新しい設定は再起動後から有効になります。

6. Webブラウザを終了します。

5-4. DHCPサーバー機能の詳細設定をする

ご利用のネットワーク環境にDHCPサーバー機能を持つネットワーク機器がない場合、モニターの「DHCPサーバー機能」を利用して、簡単にネットワーク上のコンピュータやネットワーク機器にIPアドレスを割り当てることができます。

「DHCP サーバ機能」で「ENABLE」に設定すると、モニターをDHCPサーバーとして動作させることができます。

参考

- モニターのDHCPサーバー機能を利用してコンピュータに自動でIPアドレスを割り当てる場合、コンピュータの設定を「IPアドレスを自動的に取得する」にする必要があります。

1. NetDA Managerのメイン画面で設定するモニターを選択し、Webページを表示します。
2. 「ネットワーク設定」の下にある、「DHCPサーバ」をクリックします。
3. 「DHCP サーバ機能」で「ENABLE」を選択し、必要項目を入力します。



4. 設定が完了したら「設定更新」をクリックします。

5. モニターのネットワーク機能を再起動します。

「OK」をクリックします。

新しい設定は再起動後から有効になります。

6. Webブラウザを終了します。

5-5. アクセスポイント機能の詳細設定をする

モニターの「アクセスポイント機能」を使用すると、無線LANで接続したコンピュータからはもちろん、有線LANで接続したコンピュータからもモニターを使用することができます。

参考

- ・ モニターのアクセスポイント機能を利用して無線LANに接続する場合、コンピュータの無線LAN設定をモニターの無線LAN設定に合わせる必要があります。

1. NetDA Managerのメイン画面で設定するモニターを選択し、Webページを表示します。
2. 「ネットワーク設定」の下にある、「無線LAN」をクリックします。
3. 「ネットワークモード」で「AccessPoint」を選択して、「無線LAN基本設定」に必要項目を入力します。



4. 設定が完了したら「設定更新」をクリックします。
5. モニターのネットワーク機能を再起動します。
「OK」をクリックします。
新しい設定は再起動後から有効になります。
6. Webブラウザを終了します。

5-6. モニターの待機画面を変更する

ネットワーク未接続時の待機画面を変更することができます。

1. NetDA Managerのメイン画面で設定するモニターを選択し、Webページを表示します。
2. 「メンテナンス情報」の下にある、「待機画面」をクリックします。
3. 「参照...」 ボタンをクリックして、アップロードする画像を選択します。
画像の選択が完了したら、「アップロード」をクリックします。



参考

- アップロード可能な画像は、800 x 600 ピクセルの pngフォーマットの画像のみです。
- 「画像の選択」で「Blank」を選択すると、待機画面表示はおこないません。
- 「アップロード」をクリックすると、自動的にモニターのネットワーク機能が再起動して、設定が有効になります。

4. Webブラウザを終了します。

5-7. 設定を初期化する

モニターのネットワーク設定情報を初期化して、工場出荷時設定に戻すことができます。

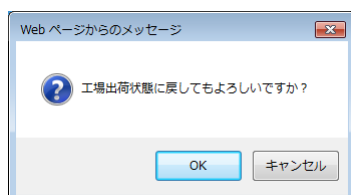
注意点

- ・初期化をおこなうと、モニターがDHCPサーバーとして起動します（「DHCPサーバー機能」：「ENABLE」）。モニターの「DHCPサーバー機能」設定を「DISABLE」として使用している場合はご注意ください。
- ・初期化をおこなう場合は、モニターに接続中のコンピュータがないことを確認してください。
- ・初期化実行中は、モニターの電源を切らないでください。
- ・初期化実行中に、一瞬画面が消えます。
- ・初期化をおこなうと、設定されている情報はすべて工場出荷時設定に戻りますので、事前に現在の設定情報を控えておくことをお勧めします。
- ・他のネットワークで使用していたモニターのネットワーク設定を変更する場合は、まず、モニターのネットワーク設定情報を初期化してからおこなってください。

1. NetDA Managerのメイン画面で初期化するモニターを選択し、Webページを表示します。
2. 「メンテナンス情報」の下にある、「工場出荷時設定」をクリックします。
3. 確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



4. 再度、確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



5. モニター側面の CONNECT LEDが緑点滅、LINK LEDが緑点灯状態になると、初期化は完了です。
6. Webブラウザを終了します。

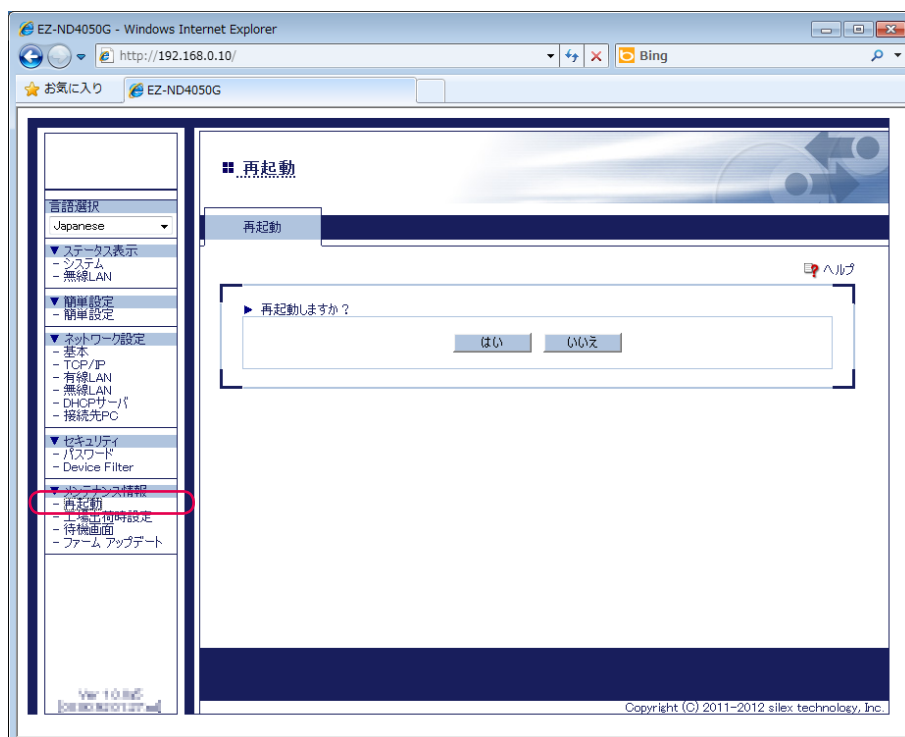
5-8. モニターのネットワーク機能を再起動する

モニターのネットワーク機能を再起動することができます。

注意点

- 再起動をおこなう場合は、モニターに接続中のコンピュータがないことを確認してください。

1. NetDA Managerのメイン画面で再起動するモニターを選択し、Webページを表示します。
2. 「メンテナンス情報」の下にある、「再起動」をクリックします。
3. 確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



4. 約30秒で再起動が完了します。

5. Webブラウザを終了します。

第6章 設定項目一覧

Webページでの設定項目は次のとおりです。

6-1. 簡単設定

● 簡単設定

項目	設定内容	工場出荷時設定
基本設定		
ホスト名	モニターのホスト名を設定します。 ここで設定した名称がNetDA Managerなどでモニターの名称（表示名）として使用されます。他の機器と重複しない名前を設定してください。	EZxxxxxx (xxxxxxはEthernetアドレスの下6桁)
ネットワークモード	ネットワークの動作の種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• AccessPoint モニターをアクセスポイントとして使用して、無線LANを搭載したコンピュータなどを無線LAN接続します。• Wireless only (STA) モニターを、アクセスポイントのある環境で無線LANに接続します。• Wired only モニターを、ネットワークケーブルを使用して有線LANに接続します。	AccessPoint
TCP/IP設定		
DHCP	DHCPプロトコルの有効（ENABLE）/無効（DISABLE）を設定します。 ※IPアドレスをDHCPによって設定するためには、サブネットワーク内にDHCPサーバーが稼動していなければなりません。	DISABLE
IPアドレス	モニターのIPアドレスを設定します。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。DHCPが有効の場合は、DHCPで取得したIPアドレスが優先されます。	192.168.0.10
サブネットマスク	モニターのサブネットマスクを設定します。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、IPアドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。DHCPが有効の場合、DHCPで取得したサブネットマスクが優先されます。	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	モニターのゲートウェイのIPアドレスを設定します。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。ゲートウェイはモニターと同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になります。DHCPが有効の場合、DHCPで取得したデフォルトゲートウェイが優先されます。	0.0.0.0

項目	設定内容	工場出荷時設定
DHCPサーバ設定		
DHCPサーバ機能	DHCPサーバの有効 (ENABLE) /無効 (DISABLE) を設定します。 モニターをDHCPサーバとして動作させて、コンピュータにIPアドレスを自動で割り振る場合は「ENABLE」に設定します。同じネットワーク内にすでにDHCPサーバがある場合は「DISABLE」に設定してください。	ENABLE
開始IPアドレス	「DHCPサーバ機能」を有効にした場合の割り当て開始IPアドレスを設定します。 設定値は、ピリオド (ドット) で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	192.168.0.11
終了IPアドレス	「DHCPサーバ機能」を有効にした場合の割り当て終了IPアドレスを設定します。 設定値は、ピリオド (ドット) で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	192.168.0.254
サブネットマスク	割り当てIPのためのサブネットマスクを設定します。 設定値は、ピリオド (ドット) で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」 (デフォルト) に設定すると、割り当て開始IPアドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定します。 設定値は、ピリオド (ドット) で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」 (デフォルト) に設定すると無効になります。	0.0.0.0
無線LAN基本設定		
SSID	モニターを接続する無線LANのSSIDを設定します。 SSIDは、無線LANを使用して通信するグループを識別するためのIDです。無線LAN上で通信する機器は同じSSIDを設定します。 半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) を使用して、32文字以内で入力します。	EZxxxxxx (xxxxxxはEthernetアドレスの下6桁)
ネットワーク認証	無線LANアクセスポイントと接続する際に使用する認証方式を設定します。 強固なセキュリティを確保するために、WPA/WPA2を使用することをお勧めします。IEEE 802.11nでは、AESのみ使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Open (オープンシステム) 認証をおこなわず、すべてのアクセスを許可します。 暗号化通信にはWEPを使用します。 • Shared (共有キー) 暗号化に使用する WEP キーを認証キーとして使用し、同じキーを持つ機器にのみアクセスを許可します。暗号化通信にはWEPを使用します。 • WPA PSKを使用してネットワーク認証をおこないます。通信の暗号化はTKIP/AES/AUTOから選択します。暗号キーは共有キーを元にアクセスポイントと通信して作成されます。WEP キーの設定内容は使用しません。 • WPA2 PSKを使用してネットワーク認証をおこないます。通信の暗号化はAES/AUTOから選択します。暗号キーは共有キーを元にアクセスポイントと通信して作成されます。WEPキーの設定内容は使用しません。 • WPA MIX WPAとWPA2の両方の認証を使用することができます。モニターがAccessPointモードで動作している場合のみ選択できます。 	Open

項目	設定内容	工場出荷時設定
WEP設定		
WEP	<p>WEP暗号化機能の有効（ON）/無効（OFF）を設定します。</p> <p>WEP暗号化を使用すると、「WEPキー1～4」および「キーインデックス」に設定された情報により、無線LANで通信するデータが暗号化されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ON WEP暗号化機能を有効にします。 • OFF WEP暗号化機能を無効にします。 <p>※暗号化を使用しない場合、無線LANで通信するデータは暗号化されずに、そのまま送信されます。セキュリティを向上させるため、暗号化設定をおこなって無線LANを構築することをお勧めします。</p>	OFF
キーインデックス	<p>WEP暗号化を使用する際に、暗号化に使用するWEPキーの番号（1～4）を設定します。</p> <p>※このキーインデックスは通信する相手機器（アクセスポイントなど）と同じ値を設定する必要があります。</p>	1
WEPキー1～4	<p>WEP暗号化に使用する暗号化キー（WEPキー）を設定します。</p> <p>このWEPキーは最大4つまで設定することができます。</p> <p>WEPキーの入力方式は「16進数表記」と「英数字表記」があります。</p> <p>一般的には、半角英数字文字列を「英数字表記」で設定します。キーサイズ（キーの長さ）が64bitの場合は5文字の値、128bitの場合は13文字の値を入力します。</p> <p>「16進数表記」の場合は、数字の「0～9」と英字の「A～F」を組み合わせた値を設定します。キーサイズが64bitの場合は10桁の値、128bitの場合は26桁の値を入力します。</p> <p>※このWEPキーは通信する相手機器（アクセスポイントなど）と同じ値を設定する必要があります。</p>	なし

項目	設定内容	工場出荷時設定
WPA/WPA2 設定		
暗号化方式	<p>WPA/WPA2/WPA MIXの認証方式で使用する暗号化方式を選択します。 設定値は、次の3種類から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TKIP WPAでのみ使用できる暗号化方式です。 • AES WPA/WPA2のどちらでも使用できる暗号化方式です。 • AUTO 通信相手機器に合わせて、TKIP/AESの暗号化方式を自動的に選択します。 <p>※一般的にはTKIPよりもAESのほうが強力な暗号化方式といわれています。セキュリティ向上のために、AES暗号化方式を使用して無線LANを構築することをお勧めします。</p> <p>※この暗号化方式は通信する相手機器（アクセスポイントなど）と同じ値を設定する必要があります。</p>	AES
共有キー	<p>TKIP/AESの暗号化方式で使用する際に共有キー（Pre-Shared Key）を設定します。 共有キーとは暗号化キーを生成するためのキーワードで、「ネットワークキー」や「パスワード」といった表現で設定する無線LAN機器もあります。 一般的には、8～63文字の半角英数字文字列を「英数字表記」で設定します。 「16進数表記」の場合は、数字の「0～9」と英字の「A～F」を組み合わせた64文字の16進数値を設定します。</p> <p>※この共有キーは通信する相手機器（アクセスポイントなど）と同じ値を設定する必要があります。</p>	duravision
接続先PCの設定		
PC1	<p>接続するコンピュータのコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。 モニターにUSBキーボードを接続した場合、PC1に登録されたPCがキーボードの「F1」に対応し、「Ctrl」+「Shift」+「F1」を押すことで指定のコンピュータに接続することができます。</p> <p>※キーボードを使用してコンピュータに接続する場合は、次の条件を満たしている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続先のコンピュータが休止状態ではないこと • 接続先のコンピュータでNetDA Managerが起動していること <p>※この項目の設定をおこなうと、設定したコンピュータ以外からの接続ができなくなります。他のコンピュータからの接続も許可する場合は「5-3. モニターに表示させるコンピュータを制限する」(P.36)を参照してください。</p> <p>※USBキーボードによる接続で2台以上のコンピュータの登録をおこなう場合は、「接続先PCの設定」(P.52)より設定してください。</p>	なし

6-2. ネットワーク設定

● 基本設定

項目	設定内容	工場出荷時設定
基本設定		
ホスト名	モニターのホスト名を設定します。 ここで設定した名称がNetDA Managerなどでモニターの名称（表示名）として使用されます。他の機器と重複しない名前を設定してください。	EZxxxxxx (xxxxxxはEthernetアドレスの下6桁)
ネットワークモード	ネットワークの動作の種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• AccessPoint モニターをアクセスポイントとして使用して、無線LANを搭載したコンピュータなどを無線LAN接続します。• Wireless only (STA) モニターを、アクセスポイントのある環境で無線LANに接続します。• Wired only モニターを、ネットワークケーブルを使用して有線LANに接続します。	AccessPoint

● TCP/IP設定

項目	設定内容	工場出荷時設定
TCP/IP設定		
DHCP	DHCPプロトコルの有効（ENABLE）/無効（DISABLE）を設定します。 ※IPアドレスをDHCPによって設定するためには、サブネットワーク内にDHCPサーバーが稼動していなければなりません。	DISABLE
IP アドレス	モニターのIPアドレスを設定します。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。DHCPが有効の場合は、DHCPで取得したIPアドレスが優先されます。	192.168.0.10
サブネットマスク	モニターのサブネットマスクを設定します。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、IPアドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。DHCPが有効の場合、DHCPで取得したサブネットマスクが優先されます。	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	モニターのゲートウェイのIPアドレスを設定します。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。ゲートウェイはモニターと同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になります。DHCPが有効の場合、DHCPで取得したデフォルトゲートウェイが優先されます。	0.0.0.0

● 有線LAN設定

項目	設定内容	工場出荷時設定
有線LAN 設定		
インタフェース	物理ネットワークの種別（AUTO/10HALF/10FULL/100HALF/100FULL/1000FULL）を設定します。 通常は「AUTO」のまま使用してください。電源投入時に接続しているHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO
ジャンボフレーム	ジャンボフレームの有効（ON）/無効（OFF）を設定します。 有効にした場合、1フレーム最大9696バイト（FCS4バイトを除く）でTCP/IP通信をおこなうことができます。ただし、10/100Mbps環境で使用する際はジャンボフレームを無効にしてください。	OFF

● 無線LAN設定

項目	設定内容	工場出荷時設定
ネットワークモード		
ネットワークモード	ネットワークの動作の種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> AccessPoint モニターをアクセスポイントとして使用して、無線LANを搭載したコンピュータなどを無線LAN接続します。 Wireless only（STA） モニターを、アクセスポイントのある環境で無線LANに接続します。 Wired only モニターを、ネットワークケーブルを使用して有線LANに接続します。 	AccessPoint
無線LAN基本設定		
無線モード	モニターが使用するIEEE 802.11無線規格の種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 802.11 b/g IEEE802.11bおよびIEEE802.11gで通信します。 802.11 a IEEE802.11aで通信します。 802.11 n/b/g IEEE802.11n、IEEE802.11bおよびIEEE802.11gで通信します。 802.11 n/a IEEE802.11nおよびIEEE802.11aで通信します。 	802.11n/a
SSID	モニターを接続する無線LANのSSIDを設定します。 SSIDは、無線LANを使用して通信するグループを識別するためのIDです。無線LAN上で通信する機器は同じSSIDを設定します。 半角英数字、-（ハイフン）、_（アンダースコア）を使用して、32文字以内で入力します。	EZxxxxxx （xxxxxxはEthernetアドレスの下6桁）

項目	設定内容	工場出荷時設定
チャンネル帯域幅	<p>周波数帯域幅を設定します。 802.11n/b/g または 802.11n/a を使用するときには設定します。</p> <p>無線LANでは、複数の無線機器が同時に通信できるように周波数帯域を分割して利用します。 分割した周波数帯域をチャンネルと呼び、無線LANで使用するチャンネルの周波数帯域幅は、1チャンネルで「20MHz」です。</p> <p>「40MHz」にすると、一度に通信できるデータ量が増え、高速通信が可能となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 40MHz（高速） 隣り合う2つの20MHzの帯域をつなげて標準の2倍の周波数帯域幅として、高速通信をおこないます。 20MHz（標準） 標準の周波数帯域幅を使用して通信します。40MHz（高速）では一度に多くの帯域を消費します。40MHzの設定で通信が不安定になる場合は、20MHz（標準）で使用することを推奨します。 	40MHz
通信チャンネル	<p>無線LANで使用するチャンネルを設定します。 ネットワークモードで「AccessPoint」モードを使用するときには設定します。</p> <p>チャンネルとは、分割した周波数帯域です。無線LANでは、複数の無線機器が同時に通信できるようにするために、周波数帯域を分割して利用します。 他の無線製品の電波と混信して通信が不安定になる場合は、使用するチャンネルを変更してください。</p> <p>※モニターを使用している国によって、チャンネルが異なります。</p> <p>※W53、W56のチャンネルは起動後およびレーダー波を検知した場合、1分間通信できません。</p>	36
送信強度	<p>電波の送信強度を設定します。 ネットワークモードで「AccessPoint」モードを使用するときには設定します。</p> <p>送信強度を抑えると、モニターから電波の届く距離が短くなり、モニターを検索できる範囲を狭めることができます。</p> <p>モニターを検索できる範囲を狭めることで、例えば、別の部屋やオフィスの外などから検索されづらくすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> High 最大の送信強度で出力します。一般的に使用される電波の送信強度です。 Middle 送信強度を「High」よりも下げて出力します。モニターを検索できる範囲を狭める場合は、こちらを選択してください。 Low 送信強度を「Middle」よりも下げて出力します。モニターを検索できる範囲をさらに狭める場合は、こちらを選択してください。 	High

項目	設定内容	工場出荷時設定
ネットワーク認証	<p>無線LANアクセスポイントと接続する際に使用する認証方式を設定します。</p> <p>強固なセキュリティを確保するために、WPA/WPA2を使用することをお勧めします。IEEE 802.11nでは、AESのみ使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Open（オープンシステム） 認証をおこなわず、すべてのアクセスを許可します。暗号化通信にはWEPを使用します。 • Shared（共有キー） 暗号化に使用する WEP キーを認証キーとして使用し、同じキーを持つ機器にのみアクセスを許可します。暗号化通信にはWEPを使用します。 • WPA PSKを使用してネットワーク認証をおこないます。通信の暗号化はTKIP/AES/AUTOから選択します。暗号キーは共有キーを元にアクセスポイントと通信して作成されます。WEP キーの設定内容は使用しません。 • WPA2 PSKを使用してネットワーク認証をおこないます。通信の暗号化はAES/AUTOから選択します。暗号キーは共有キーを元にアクセスポイントと通信して作成されます。WEPキーの設定内容は使用しません。 • WPA MIX WPAとWPA2の両方の認証を使用することが出来ます。モニターがAccessPointモードで動作している場合のみ選択できます。 	Open
WEP設定		
WEP	<p>WEP暗号化機能の有効（ON）/無効（OFF）を設定します。</p> <p>WEP暗号化を使用すると、「WEPキー（1～4）」および「キーインデックス」に設定された情報により、無線LANで通信するデータが暗号化されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ON WEP暗号化機能を有効にします。 • OFF WEP暗号化機能を無効にします。 <p>※暗号化を使用しない場合、無線LANで通信するデータは暗号化されずに、そのまま送信されます。セキュリティを向上させるため、暗号化設定をおこなって無線LANを構築することをお勧めします。</p>	OFF
キーインデックス	<p>WEP暗号化を使用する際に、暗号化に使用するWEPキーの番号（1～4）を設定します。</p> <p>※このキーインデックスは通信する相手機器（アクセスポイントなど）と同じ値を設定する必要があります。</p>	1

項目	設定内容	工場出荷時設定
WEPキー1～4	<p>WEP暗号化に使用する暗号化キー（WEPキー）を設定します。</p> <p>このWEPキーは最大4つまで設定することができます。</p> <p>WEPキーの入力方式は「16進数表記」と「英数字表記」があります。</p> <p>一般的には、半角英数字文字列を「英数字表記」で設定します。キーサイズ（キーの長さ）が64bitの場合は5文字の値、128bitの場合は13文字の値を入力します。</p> <p>「16進数表記」の場合は、数字の「0～9」と英字の「A～F」を組み合わせた値を設定します。キーサイズが64bitの場合は10桁の値、128bitの場合は26桁の値を入力します。</p> <p>※このWEPキーは通信する相手機器（アクセスポイントなど）と同じ値を設定する必要があります。</p>	なし
WPA/WPA2設定		
暗号化方式	<p>WPA/WPA2/WPA MIXの認証方式で使用する暗号化方式を選択します。</p> <p>設定値は、次の3種類から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TKIP WPAでのみ使用できる暗号化方式です。 • AES WPA/WPA2のどちらでも使用できる暗号化方式です。 • AUTO 通信相手機器に合わせて、TKIP/AESの暗号化方式を自動的に選択します。 <p>※一般的にはTKIPよりもAESのほうが強力な暗号化方式といわれています。セキュリティ向上のために、AES暗号化方式を使用して無線LANを構築することをお勧めします。</p> <p>※この暗号化方式は通信する相手機器（アクセスポイントなど）と同じ値を設定する必要があります。</p>	AES
共有キー	<p>暗号化方式でTKIP/AESを使用する際に共有キー（Pre-Shared Key）を設定します。</p> <p>共有キーとは暗号化キーを生成するためのキーワードで、「ネットワークキー」や「パスワード」といった表現で設定する無線LAN機器もあります。</p> <p>一般的には、8～63文字の半角英数字文字列を「英数字表記」で設定します。</p> <p>「16進数表記」の場合は、数字の「0～9」と英字の「A～F」を組み合わせた64文字の16進数値を設定します。</p> <p>※この共有キーは通信する相手機器（アクセスポイントなど）と同じ値を設定する必要があります。</p>	duravision

● DHCPサーバ設定

項目	設定内容	工場出荷時設定
DHCPサーバ設定		
DHCPサーバ機能	DHCPサーバの有効（ENABLE）/無効（DISABLE）を設定します。 モニターをDHCPサーバとして動作させて、コンピュータにIPアドレスを自動で割り振る場合は「ENABLE」に設定します。同じネットワーク内にすでにDHCPサーバがある場合は「DISABLE」に設定してください。	ENABLE
開始IPアドレス	「DHCP サーバ機能」を有効にした場合の割り当て開始IPアドレスを設定します。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	192.168.0.11
終了IPアドレス	「DHCP サーバ機能」を有効にした場合の割り当て終了IPアドレスを設定します。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	192.168.0.254
サブネットマスク	割り当てIPのためのサブネットマスクを設定します。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」（デフォルト）に設定すると、割り当て開始 IPアドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定します。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」（デフォルト）に設定すると無効になります。	0.0.0.0
リース期間	リースタイムを設定します。 設定が0日0時間0分の場合、リース期間は10日間となります。	0日0時間0分

● 接続先PCの設定

項目	設定内容	工場出荷時設定
起動時の自動接続		
起動時の自動接続	モニターの起動時の動作を設定します。 「ENABLE」に設定すると起動時にPC 1に登録したコンピュータに対して接続を実行します。	DISABLE
デバイス切断のキー設定		
デバイス切断のキー設定	USBキーボードによるデバイスの切断するキーを設定します。 Delete：デバイスを切断するキー操作は「Ctrl」+「Shift」+「Delete」に設定されます。 Insert：デバイスを切断するキー操作は「Ctrl」+「Shift」+「Insert」に設定されます。	Delete
接続先PCの設定		
登録PCのみ接続許可	「ENABLE」に設定するとPC 1～PC 12に登録したコンピュータからの接続のみ許可します。 登録が1つもない場合は接続は限定されません。 「DISABLE」に設定するとコンピュータからの接続は限定されません。	ENABLE
PC 1～12	<p>モニターに接続したUSBキーボードで、接続するコンピュータを登録します。 「PC 1」～「PC 12」にコンピュータの「コンピュータ名」または「IPアドレス」のいずれかを設定します。</p> <p>モニターに接続したUSBキーボードでキー操作を実行することで、指定のコンピュータに接続します。 PC 1～PC 12に登録されたコンピュータがキーボードのファンクションキー「F1」～「F12」に対応して、「Ctrl」+「Shift」+「ファンクションキー」を押すことで指定のコンピュータに接続することができます。また、「デバイス切断のキー設定」で設定したキー操作でモニターに接続されているデバイスを切断することができます。</p> <p>(例) PC 2に登録されたコンピュータに接続する場合： USBキーボードで「Ctrl」と「Shift」、「F2」を同時に押します。</p> <p>※キーボードを使用してコンピュータに接続する場合は、次の条件を満たしている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続先のコンピュータが休止状態ではないこと ・ 接続先のコンピュータでNetDA Managerが起動していること 	なし

6-3. セキュリティ

● パスワードの設定

項目	設定内容	工場出荷時設定
パスワードの設定		
新しいパスワード	モニターの管理パスワードをASCII文字列（7文字以内）で設定します。 このパスワードはWebページで設定をおこなう際の認証パスワードとして使用します。	なし

● Device Filter設定

項目	設定内容	工場出荷時設定
オーディオデバイスの接続許可	モニターの内蔵スピーカーおよびライン出力コネクタへの音声配信、マイク入力コネクタからの音声受信を実行（ENABLE）/禁止（DISABLE）します。 「ENABLE」に設定すると、接続したコンピュータで再生した音声を内蔵スピーカーおよびライン出力コネクタへ配信します。また、マイク入力コネクタからの音声入力を受信します。 「DISABLE」に設定すると、内蔵スピーカーおよびライン出力コネクタへの配信、マイク入力コネクタからの受信を含め、モニターに対する音声入出力をおこないません。 （NetDA Manager上でオーディオデバイスが一覧表示されなくなります。） ※音声配信および音声受信を使用しない場合は 「DISABLE」に設定することで映像を滑らかに表示することができます。	DISABLE
ストレージデバイスの接続許可	モニターのUSBポートにストレージデバイスを接続した際のネットワーク共有を許可（ENABLE）/禁止（DISABLE）します。 「ENABLE」に設定すると接続されたストレージデバイスはNetDA Managerを使用して共有することができます。 「DISABLE」に設定すると接続されたストレージデバイスはNetDA Managerを使用してネットワーク接続できません。	DISABLE

6-4. メンテナンス情報


● 待機画面

項目	設定内容	工場出荷時設定
待機画面の設定		
画像の選択	待機画面に使用する画像を選択します。 <ul style="list-style-type: none">Default Image デフォルトの画像を待機画面に設定します。Upload Image アップロードした画像を待機画面に設定します。Blank 待機画面表示をおこないません。	Default Image

第7章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

7-1. 導入時

症 状	原因と対処方法
1. Windowsのワイヤレスネットワーク接続の一覧にモニターが表示されません。	<ul style="list-style-type: none">・ モニターのネットワークモードが正しく設定されていない可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- モニターの「ネットワークモード」が「AccessPoint」に設定されていることを確認してください。・ 無線LAN経由で設定する場合、コンピュータの無線LAN設定が無効になっている可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- コンピュータのWindowsのネットワーク設定やコンピュータ本体の無線LANスイッチなどで、無線LANが有効になっていることを確認してください。・ 無線LAN経由で設定する場合、モニターが設置されている場所の電波状態が悪い可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- モニターの設置環境や利用条件を確認してください。
2. NetDA Managerのメイン画面にモニターが表示されません。	<ul style="list-style-type: none">・ モニターの接続状態、電源供給状態、動作状態に問題がある可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- モニターのLEDの点灯状態を確認してください。LEDが正常な動作を示していないようであれば、電源コンセントや接続しているケーブル類の交換および接続機器の再起動をおこなって、再度確認してください。・ モニターの起動がまだ完了していない可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- モニターの起動時間は設置環境により異なりますが、電源を投入してから起動が完了するまで最大で約30秒かかります。それ以降にNetDA Managerの「更新」()をクリックして状況を確認してください。・ NetDA Managerを起動しているコンピュータとモニターが同じネットワークセグメント（ルータを経由しない環境）に接続されていない可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- 初期導入時の設定は、同じネットワークセグメントでおこなってください。・ 別のネットワークで使用していたモニターを再設定する場合、モニターにNetDA Managerを起動しているコンピュータとは通信できないネットワーク設定が登録されている可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- この場合は、ネットワークの設定を初期設定に戻してから、再度確認してください。 初期設定に戻す方法については「5-7. 設定を初期化する」(P.40)を参照してください。・ NetDA Managerを起動しているコンピュータでファイアウォールなどのセキュリティソフトが動作しており、モニターとの通信が除外されている可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- この場合は、セキュリティソフトを停止させてから、再度確認してください。

症 状	原因と対処方法
<p>3. NetDA ManagerからモニターのWebページにアクセスするとエラーが発生します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • NetDA Managerを起動しているコンピュータとモニターが同じネットワークセグメント（ルータを経由しない環境）に接続されていない可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - 初期導入時の設定は、同じネットワークセグメントでおこなってください。 • DHCPサーバーのある環境下で、DHCP サーバーが割り当てるIPアドレスとは異なるネットワークセグメントのIPアドレスがコンピュータに設定されている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - この場合は、コンピュータのインターネットプロトコルの設定で「IPアドレスを自動的に設定する」に設定して、再度確認してください。または、コンピュータとモニターをクロスタイプのネットワークケーブルで接続して、再度確認してください。 • 別のネットワークで使用していたモニターを再設定する場合、モニターにNetDA Managerを起動しているコンピュータの通信できないネットワーク設定が登録されている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - この場合は、ネットワークの設定を初期設定に戻してから、再度確認してください。 初期設定に戻す方法については「5-7. 設定を初期化する」（P.40）を参照してください。 • Webブラウザのプロキシサーバー設定が有効になっており、Webブラウザでローカルネットワークへのアクセスができなくなっている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - Webブラウザの設定で、一時的にプロキシサーバーを使用しない設定にするか、ローカルネットワークへのアクセスが可能になるように設定してください。 <p>（例）Internet Explorer 8を使用する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ツール」-「インターネットオプション」をクリックします。 2. 「インターネットオプション」画面が表示されるので「接続」タブをクリックします。 3. 「LANの設定」をクリックして表示された画面で、「LANにプロキシサーバーを使用する」にチェックが入っているかを確認します。 4. チェックが入っている場合は、一時的にこのチェックを外すか、「ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない」をチェックします。 <p>その他のWebブラウザについては、各Webブラウザの取扱説明書を参照してください。</p>


症 状	原因と対処方法
4. モニターに設定するIPアドレスはどのように決定すればよいのでしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレスを割り当てる方法は、「DHCPサーバーを使用して自動でIPアドレスを割り当てる方法」と「IPアドレスを手動で割り当てる方法」があります。ご利用環境に応じて、いずれかのIPアドレスの割り当て方法を選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク環境にDHCPサーバーが設置されている場合 「DHCPサーバを使用して自動でIPアドレスを割り当てる方法」を利用します。 モニターの「TCP/IP設定」-「DHCP」を「ENABLE」に、「DHCPサーバー機能」を「DISABLE」に設定してください。 ネットワーク環境にDHCPサーバーが設置されていない場合 /DHCPサーバーからのアドレス割り当てをしない場合 「モニターのDHCPサーバーを使用する」方法、または「IPアドレスを手動で割り当てる方法」を利用します。 モニターのDHCPサーバーを使用する場合、IPアドレスは自動的に「192.168.0.1」になります。 IPアドレスを手動で割り当てる方法の場合、割り当てるIPアドレスは次の点に注意して設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク上の他の機器と重複しない番号であること モニターを使用するコンピュータの同一のアドレスクラスであること (例) コンピュータのIPアドレスが「192.168.0.x.x」の場合、他のネットワーク機器で使用されていない「192.168.0.100」などのIPアドレスを割り当てます。

参考

- IPアドレスに関する情報
 - IPアドレスはネットワーク機器を識別するための番号で、「192.168.0.1」などのように4つの数値をピリオド (.) で区切って表現します。各数値は、0から255までの整数を使用します。
 - IPアドレスは、割り当てる数値によって、次の表のように3つのクラスに分類されます。
 - IPアドレスを構成する数値は、ネットワークを示す「ネットワーク番号」と各ネットワーク機器を示す「ホスト番号」に区別され、IPアドレスクラスにより各数値の示す意味が異なります。ネットワーク番号を「n」、ホスト番号を「u」で表すと各クラスは次の表のように分類されます。
 - 同じネットワークセグメントで動作するネットワーク機器には、同じネットワーク番号を持ったIPアドレスを割り当てる必要があります。
 - IPアドレスには、プライベートアドレスと呼ばれる自由に利用できるアドレス範囲が決められています。インターネットに直接接続されないLAN環境ではプライベートアドレスの範囲内でIPアドレスを割り当てます。

IPアドレスの 最初の数値	クラス	IPアドレスの示す意味 n:ネットワーク番号 u:ホスト番号	使用されるネットワーク の規模	プライベート アドレス
0～127	A	n.u.u.u	大規模ネットワーク	10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
128～191	B	n.n.u.u	中規模ネットワーク	172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
192～223	C	n.n.n.u	小規模ネットワーク	192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

7-2. 使用時

症 状	原因と対処方法
1. キーボード操作で接続しても画像が表示されません。	<ul style="list-style-type: none">・ モニター、およびモニターが接続されているイーサネットハブの接続状態、電源供給状態、動作状態に問題がある可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- モニターのLEDおよびモニターやコンピュータが接続されているイーサネットハブのLEDの点灯状態を確認してください。各機器のLEDが正常な動作を示していないようであれば、電源コンセントや接続しているケーブル類の交換および接続機器の再起動をおこなって、再度確認してください。・ モニターの起動がまだ完了していない可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- モニターの起動時間は設置環境により異なりますが、電源を投入してから起動が完了するまで最大で約30秒かかります。それ以降にNetDA Managerの「更新」()をクリックして状況を確認してください。・ モニターの「接続先PCの設定」が、正しく設定されていない可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- 「接続先PCの設定」が、正しく設定されているかを確認してください。「接続先PCの設定」はWebページから設定することができます。詳細は、「キーボードで表示するための設定をする」(P.32)を参照してください。・ コンピュータが休止状態になっている可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- コンピュータが休止状態の場合は、モニターに接続されたUSBキーボードを使用して接続することはできません。コンピュータのWake On LANの設定がオフになっていることを確認してください。・ コンピュータのディスプレイドライバ設定がモニターに適していない可能性があります。<ul style="list-style-type: none">- コンピュータのディスプレイドライバ設定が、モニターの性能を超えた設定になっていないかをご確認ください。ディスプレイドライバの設定については「モニターの表示設定」(P.29)を参照して、必要であれば設定を変更してください。

症 状	原因と対処方法
<p>2. モニターがNetDA Managerに表示されません。または、表示されたり、されなかったりします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニター、およびモニターが接続されているイーサネットハブの接続状態、電源供給状態、動作状態に問題がある可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - モニターのLEDおよびモニターやコンピュータが接続されているイーサネットハブのLEDの点灯状態を確認してください。各機器のLEDが正常な動作を示していないようであれば、電源コンセントや接続しているケーブル類の交換および接続機器の再起動をおこなって、再度確認してください。 ・ モニターの起動がまだ完了していない可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - モニターの起動時間は設置環境により異なりますが、電源を投入してから起動が完了するまで最大で約30秒かかります。それ以降にNetDA Managerの「更新」(🔄)をクリックして状況を確認してください。 ・ NetDA Managerを起動しているコンピュータでファイアウォールなどのセキュリティソフトウェアが動作しており、モニターとの通信が除外されている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - この場合は、セキュリティソフトウェアにNetDA Managerを除外登録する必要があります。 ・ 使用しているコンピュータのIPアドレスと通信できないIPアドレスがモニターに割り当てられている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - 次の手順で使用しているコンピュータのIPアドレスを確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」- 「(すべての) プログラム」- 「アクセサリ」- 「コマンド プロンプト」を起動します。 2. ipconfigコマンドを実行します。 (ipconfigコマンド実行例) 「ipconfig」と入力し、Enterキーを押します。 <div data-bbox="770 1086 1414 1523" data-label="Code-Block"> <pre> Microsoft Windows [Version 6.1.7601] (C) Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All right reserved. C:\Users\Username> Windows IP 構成 イーサネット アダプター ローカル エリア接続: 接続固有の DNS サフィックス . . . : IPv6 アドレス : 2001:db8::x:x:x:x 一時 IPv6 アドレス : 2001:db8::z:z:z:z リンクローカル IPv6 アドレス . . : fe80::x:x:x:x%4 IPv4 アドレス : 192.168.0.10 サブネット マスク : 255.255.255.0 デフォルト ゲートウェイ : fe80::x%4 192.168.0.254 </pre> </div> <p>コンピュータのIPアドレスが表示されます。</p> <p>コンピュータとモニターに設定したIPアドレスが、通信可能なIPアドレスか確認します。</p> <p>同じネットワークセグメントに設置している場合で、IPアドレスのネットワーク番号が異なる場合は、モニターまたはコンピュータに設定したIPアドレスを変更します。</p> <p>ルータを介して別のネットワークに接続している場合はデフォルトゲートウェイの設定が正しくおこなわれていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - モニターのDHCPサーバー機能を使用する場合は、コンピュータのIPアドレスを自動取得する設定にする必要があります。

症 状	原因と対処方法
	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターに割り当てられたIPアドレスが別のネットワーク機器で使用されている可能性があります。 - 次の手順でモニターに割り当てられたIPアドレスを確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. IPアドレスを確認するモニターの電源を切ります。 2. 「スタート」 - 「(すべての) プログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンド プロンプト」 を起動します。 3. pingコマンドを実行します。 (モニターに割り当てられたIPアドレスが192.168.0.20である場合のpingコマンド実行例) 「ping 192.168.0.20」と入力し、Enterキーを押します。 <div data-bbox="798 609 1410 1003" data-label="Code-Block"> <pre> Microsoft Windows [Version 6.1.7601] (C) Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All right reserved. C:\Users\Username> 192.168.0.20 に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 192.168.0.20 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=128 192.168.0.20 からの応答: バイト数 =32 時間 =9ms TTL=128 192.168.0.20 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 192.168.0.20 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 192.168.0.10 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 192.168.0.10 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 192.168.0.10 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 192.168.0.10 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 </pre> </div> <p> 応答がある場合→ 応答がない場合→ </p> <p> モニターの電源を切った状態で、pingコマンドに対する応答があった場合は、モニターに割り当てられたIPアドレスが別のネットワーク機器で使用されていることを示します。この場合は、モニターに設定したIPアドレスを変更するか、モニターに割り当てられたIPアドレスを使用しているネットワーク機器のIPアドレスを変更してください。 </p>
3. モニターに動画を表示するとカクカクとした表示になります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク環境が高負荷である可能性があります。 - 動画再生や、頻繁に画面書き替えをおこなうソフトウェアを利用されている場合、解像度を下げて、状況が改善するかを確認してください。 ・ 無線LANで接続している場合、電波の送信強度が弱い可能性があります。 - モニターの電波の送信強度を確認してください。電波の送信強度については「無線LAN設定」(P.47)を参照してください。 ・ ご使用のコンピュータの性能によって、左のような症状が発生する可能性があります。
4. モニターの表示が縦長または横長に歪んで表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディスプレイドライバの解像度設定がモニターと一致していない可能性があります。 - コンピュータのディスプレイドライバ設定が、モニターの解像度と同じ設定になっているかをご確認ください。ディスプレイドライバの設定については「モニターの表示設定」(P.29)を参照してください。 ・ コンピュータ画面の縦横比とモニター画面の縦横比が異なる可能性があります。 - コンピュータのディスプレイドライバ設定が、コンピュータの縦横比と同じであるかをご確認ください。ディスプレイドライバの設定については「モニターの表示設定」(P.29)を参照してください。

症 状	原因と対処方法
5. 音声が出ません。	<ul style="list-style-type: none"> 音量がオフになっている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - コンピュータ / オーディオ / スピーカーの音量がミュート（消音）になっていないかご確認ください。 モニターのデバイスフィルタ設定が「DISABLE」になっている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - デバイスフィルタ設定が「DISABLE」になっていると、モニターの内蔵スピーカーやオーディオデバイスと通信することができません。デバイスフィルタ設定の確認方法は「5-2. モニター内蔵スピーカー、オーディオデバイスおよびストレージデバイスの使用を制限する」（P.34）を参照してください。 モニターのオーディオがOSに認識されていない可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - 「スタート」-「コントロールパネル」-「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」-「サウンドとオーディオ デバイス」から「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」を開き、音声タブをクリックして、「音声再生」で「USB Audio CODEC」が選択されていることを確認してください。 外部スピーカーが正しく接続されていない可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - スピーカーとの接続を確認してください。
6. 音声がブツブツと途切れます。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク環境が高負荷である可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画再生や、頻繁に画面書き替えをおこなうソフトウェアを利用されている場合、解像度を下げて、状況が改善するかを確認してください。
7. Windows 7のコンピュータでモニターを接続すると、接続に時間がかかります。	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイドライバインストール時にWindows Updateからドライバソフトウェアをインストールしている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - Windows 7のコンピュータで次の設定をおこなうと、初回接続の時間を短縮することができます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「コンピューター」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。 2. 「システムの詳細設定」をクリックします。 3. 「システムのプロパティ」で「ハードウェア」タブをクリックして、「デバイスのインストール設定」をクリックします。 4. 「デバイスのインストール設定」で「いいえ、実行方法を選択します」をクリックして、「Windows Updateからドライバソフトウェアをインストールしない」をクリックし、「設定の保存」をクリックします。 5. 「システムのプロパティ」に戻りますので、「OK」をクリックします。 ※ 初回接続後は、「デバイスのインストール設定」を「はい、自動的に実行します」に戻すことをお勧めします。
8. 有線LANでは利用・接続できるのですが、無線LANでは通信できません。	<ul style="list-style-type: none"> モニターが有線LANのモードで起動している場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> - モニターの「ネットワークモード」が「Wired only」になっている場合、モニターは有線LANモードで起動します。モニターの「ネットワークモード」が正しく設定されているか確認してください。 モニターに設定されている無線LAN設定が使用している環境に適していない可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - モニターにネットワークケーブルを接続して、モニターに設定されている無線LAN設定を確認してください。
9. 通信途中に接続が切れてしまいます。	<ul style="list-style-type: none"> 無線LAN接続で通信途中に接続が切れてしまう場合は、モニターが設置されている場所の電波状態が悪い可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - モニターの設置環境や利用条件を確認してください。

第 8 章 ご参考に

8-1. 用語集

アクセスポイント

無線LAN機器や有線LANなどの他のネットワークと接続するために設置する機器のこと。

サブネットマスク

IPアドレスのうち、サブネットを識別するネットワークアドレス部を指定するための数値です。

（サブネット：1つの大きなネットワークを複数のネットワークに分割して管理する場合の、分割されたネットワークを指します。）

セキュリティ キー

無線LANでデータ通信を安全におこなうための暗号化に用いる鍵のこと。同じキーを登録した無線LAN機器間でのみ通信を可能にします。送受信される無線データを保護し、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

ジャンボフレーム

ネットワークのデータ送受信単位（フレーム）のサイズを大きくして、効率よく通信をおこなう機能のこと。Ethernetの標準規格では、1フレームの送信可能なデータサイズは1518バイトと定められています。ジャンボフレームではこれを約9Kバイト、またはそれ以上のサイズに拡大します。（本製品では最大9696バイトです。）

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークから、他のネットワークに通信をおこなう場合の、出入り口の役割を持つコンピュータやルータなどの機器のこと。

ブロードキャストアドレス

同一ネットワーク内のすべての機器に向けて、データを送信するために使われるアドレスのこと。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

ネットワークに一時的に接続するコンピュータに、IPアドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるためのプロトコル。DHCPで設定情報を提供する機能を持ったコンピュータやネットワーク機器をDHCPサーバーといいます。（本製品は初期設定でDHCPサーバーとして起動する設定になっています。）

Ethernetアドレス

ネットワーク機器に付与された48bitの識別番号のこと。固定的に割り当てられるもので、重複することがなく、各ネットワーク機器固有の番号です。MACアドレス（Media Access Control address）ともいいます。

IEEE802.11

IEEE（Institute of Electrical and Electronic Engineers：電気・電子技術の学会）により策定された無線LANの標準規格の一つ。本製品は次の4種類に対応しています。

規格	周波数帯	伝送速度（最大）
IEEE 802.11a	5GHz帯	54Mbps
IEEE 802.11b	2.4GHz帯	11Mbps
IEEE 802.11g	2.4GHz帯	54Mbps
IEEE 802.11bn	2.4GHz帯/5GHz帯	300Mbps

IP（Internet Protocol）アドレス

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPを使用したネットワークに接続されたコンピュータや通信機器1台1台に割り振られた識別番号のこと。現在のインターネットプロトコル（IPv4）では、8bitずつ4つに区切られた32bitの数値が使われ、0から255までの10進数の数字をピリオドで4つに区切って表現します（例：192.168.0.10）。なお、次世代のIPv6では128bitでアドレスを管理します。（本製品はIPv4にのみ対応しています。）

MAC（Media Access Control）アドレス

「Ethernetアドレス」を参照。

SSID（Service Set Identifier）

無線LANにおけるアクセスポイントを識別するための名前のこと。複数のアクセスポイントが存在する場合に、接続するアクセスポイントを指定します。最大32文字までの英数字を任意に設定することができます。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

ネットワーク上で通信をおこなうためのネットワークプロトコルの1つ。TCP/IPのプロトコルを利用することにより、様々なOS間での通信が可能になります。

TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）

無線LANの暗号化に用いられるWPAで採用された暗号化プロトコルのこと。暗号化キーを一定時間毎に自動的に更新するため、より安全に通信することができます。

WEP（Wired Equivalent Privacy）

無線LAN通信において、伝送データを暗号化するセキュリティシステムのこと。IEEE802.11bで採用されているが、暗号化性能は極めて弱いものとなっています。

WPA（Wi-Fi Protected Access）

無線LANの業界団体Wi-Fi Allianceが2002年10月に発表した無線LANの暗号化方式の規格のこと。WEPの弱点を補強し、セキュリティ強度を向上させたものです。

WPA2 (Wi-Fi Protected Access 2)

無線LANの業界団体Wi-Fi Allianceが2004年9月に発表した無線LANの暗号化方式の規格のこと。前述のWPAの新しいバージョンで、より強力なAES暗号に対応しています。

(AES (Advanced Encryption Standard) : 米国商務省標準技術局 (NIST) によって制定された標準暗号化方式です。)

10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T

IEEEにより策定されたEthernetの標準規格の一つ。本製品は次の3種類に対応しています。

規格	伝送速度
IEEE802.3準拠 (10BASE-T)	10Mbps
IEEE802.3u (100BASE-TX)	100Mbps
IEEE802.3ab (1000BASE-T)	1000Mbps



EIZO株式会社

<http://www.eizo.co.jp>

Copyright © 2012-2013 EIZO株式会社 All rights reserved.

第2版 2013年3月

03V23993B2
(U.M-NDM)